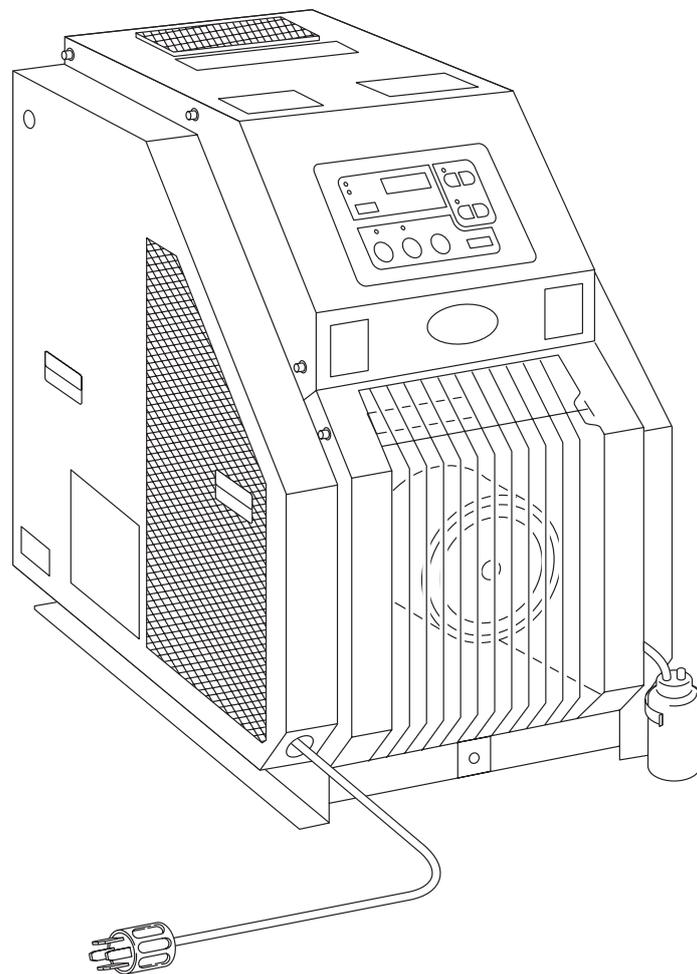


一心号 アルファヒータ

取扱説明書

型式名：KFA-480B-TC, KFA-480C-TC



- この取扱説明書と保証書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
そのあと大切に保存し必要なときにお読みください。
- 保証書は、必ず「納入日・販売店名」等の記入を確かめて、お受け取りください。
- 製造番号は、品質管理上重要なものです。製品本体と保証書の番号を照合してください。



金子農機株式会社

ご愛用の皆様へのご注意

1. この製品を使用する前に、この取扱説明書を十分お読みください。取扱説明書の説明全部を初めのうちは理解できないかもしれませんが特に重要な使用説明には気をつけてください。
2. 製品の設計には、絶えず検討を加えています。また、この取扱説明書を常に最新ののものにするためのあらゆる努力を払っていますので、仕様と機器を予告なくいつでも変更する権利があるものとします。
3. 部品を交換される場合には、必ず金子農機の純正部品をご使用ください。純正部品以外のものを使用したことにより発生した損害・事故に就きましては、弊社は責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
4. 製品の設計、開発に当たっては、操作をする人の安全について特に注意を払っていますので、本機を改造したことにより発生した損害・事故に就きましては、弊社は責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
5. この製品の補修用部品の保有期間は、製造打ち切り後12年とします。但し、保有期間内であっても、特殊部品につきましては、納期などについてご相談させていただく場合もあります。
6. は、金子農機株式会社の商標です。
7. この取扱説明書の中で特に型式指定のない場合には、すべてが共通であります。

この取扱説明書の構成

取扱説明書の各章は、操作手順通りに構成されており、目的に応じて必要な部分を参照できるようになっています。

■第1章 概要説明

この製品を取り扱う前の安全上の注意事項、火災予防上の注意事項ならびに本機に貼られている安全ラベルなどについて説明しています。

■第2章 主要諸元・外観寸法

この製品の主要諸元ならびに外観寸法について説明しています。

■第3章 各部の名称と働き

この製品の各部名称と働きについて説明しています。

■第4章 据付け

この製品の据付け上の注意事項について説明しています。

■第5章 操作説明

この製品の操作に必要な作業・手順について説明しています。

■第6章 点検・整備

この製品の点検箇所と整備のしかたについて説明しています。

■第7章 掃除と保管

この製品の掃除と保管のしかたについて説明しています。

■第8章 故障診断と処置

この製品の故障の原因と処置について説明しています。

■第9章 オプション品

この製品のオプション品について説明しています。

■第10章 緊急時の連絡先

トラブルが発生して復旧ができない場合の連絡先について説明しています。

目 次

ご愛用の皆様へのご注意	i
この取扱説明書の構成	ii
目次	iv
第 1 章 概要説明	1
製造番号	
まえがき	
安全上の注意事項	
操作前の安全ルール	
使用上の注意事項	
作業時の注意事項	
平面型乾燥機に使用する場合の注意事項	
火災予防上の注意事項	
安全ラベル	
第 2 章 主要諸元・外観寸法	2
第 3 章 各部の名称と働き	3
本機の名称と働き	
制御盤の名称と働き	
バーナ部・安全装置とセンサ類の名称と働き	
第 4 章 据付け	4
据付け上の注意事項	

第 5 章	操作説明	5
	電源の入れ方・切り方	
	本機の停止	
	運転の種類と動作	
	始動の前に	
第 6 章	点検・整備	6
第 7 章	掃除と保管	7
第 8 章	故障診断と処置	8
第 9 章	オプション品	9
第 10 章	緊急時の連絡先	10

第1章

概要説明

製造番号	1-02
まえがき	1-03
安全上の注意事項	1-05
操作前の安全ルール	1-06
使用上の注意事項	1-09
作業時の注意事項	1-14
平面型乾燥機に使用する場合の注意事項	1-15
火災予防上の注意事項	1-17
安全ラベル	1-21

1-02

概要説明

製造番号

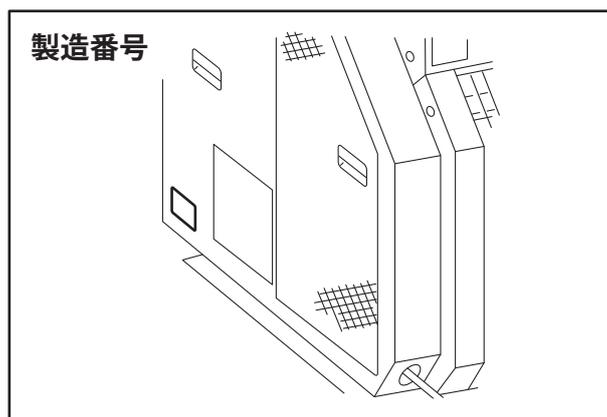
製品の製造番号を下の欄に記録してください。

お買い上げの販売店に修理を依頼したり、部品を注文される時には、この製造番号を必ず一緒にご連絡ください。

製造番号： _____

型式名： _____

あなたの住所・氏名： _____



最寄りの弊社支店または、営業所の所在地、名称および電話番号

支店または営業所名： _____

所在地： _____

電話番号： _____

納入年月日： _____ 年 _____ 月 _____ 日

型式名： _____

保証期間： _____

まえがき

この取扱説明書には、製品の運転操作、点検・整備ならびに掃除・保管の説明が記載されています。また、本書内とラベルには、一貫して JIS 1 号灯油のことを“灯油”と表記してあります。

この取扱説明書および製品には、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産の損害を未然に防止するためにいろいろな表示を使っています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

 **危険**…指示や手順を守らずに誤った取り扱いをすると人が死亡あるいは重傷を負うことになる内容を示しています。

 **警告**…指示や手順を守らずに誤った取り扱いをすると人が死亡あるいは重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

 **注意**…指示や手順を守らずに誤った取り扱いをすると人が負傷する可能性が想定される内容を示しています。

その他の表示



⊘ 記号は、禁止の行為であることを示しています。図の中に具体的な禁止事項（左図の場合は、分解禁止）が描かれています。



● 記号は、必ず守っていただきたい内容を示しています。図の中に具体的な指示内容（左図の場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください）が描かれています。
誤った取り扱いをすると、製品の本来の性能を発揮できなかつたり、機能停止をまねく内容および乾燥物の品質を損なうおそれのある内容を示しています。

補 足

製品を取り扱う上で知ってほしい内容を示しています。

本書の目的は、あなたが製品の運転操作、点検・整備ならびに掃除・保管をどのようにおこなえば効果的でしかも安全であるかを述べたものです。従って、この取扱説明書どおりに製品を取り扱っていただければよりながく、安全にお使いいただけるものと思います。

また、弊社の製品をご納入申しあげた際、あるいは試運転指導にお伺いした際にはいろいろご説明いたしますので、運転操作や点検・整備ならびに掃除・保管のやり方が一層理解いただけると思います。

本書について理解しにくい点がありましたらお買い上げの販売店もしくは最寄りの弊社営業所までお問い合わせください。いずれにしましても、この取扱説明書をよくご覧になってご理解いただくようお願いいたします。また、乾燥毎の点検を習慣づけ作業時間を記録するようにしてください。

大切！ 本書に使用している参考イラストは、原型の製品から取ったものであり、細部においては、標準品と異なる場合があります。

また、本書の参考イラストの中には、分かり易くするため、安全カバーを取り外したものがあります。製品をご使用になる場合は、必ず安全カバーを所定の位置に取り付けてください。

乾燥の条件は、乾燥物および環境により非常に違っておりますので、この取扱説明書だけでは、その条件に適した製品の性能や操作方法を詳細にわたって明確に説明することはできません。

従って、本書で説明してあることが実際と違ったり、または説明していなかったために生じた損失や損害に関しては、その責任を負うことはできないことも御理解ください。

弊社の担当員は、各地域の状況や条件によって生じる特殊な問題についての知識を持ち、適切な指導ができるように準備しておりますので、皆様が特殊な条件や悪条件下でこの製品を使用される場合には、必ず弊社担当員にご相談ください。

安全上の注意事項

安全上の予防措置

製品の設計、開発にあたっては、操作をする人の安全について特に注意を払っています。そのため設計者はできる限り安全上の機能を組み込んでいます。次の取り扱い事項をよくお読みいただき、製品の取り扱いを慎重におこない、事故を未然に防ぐようにしてください。

本書では、説明箇所を見易くするために参考イラストの中で安全カバーを取り外したものがあります。しかし、実際に製品を操作する場合は、この状態で決しておこなわないでください。必ず、全ての安全カバーを所定の位置に戻してください。

注意、警告、危険の安全ラベルが汚れたり、剥がれたり、見えにくくなった場合は取り替えてください。新しいラベルは弊社に取り揃えてあります。上記安全ラベルの貼り付けてある場所は、本書 P1-21・22 を参照してください。

この型式と同じ中古の製品をお買い上げいただいた場合は、本書 P1-21・22 を参照の上、安全ラベルが正しい位置に貼ってあるか、また読みにくくなっていないかを確認してください。

平面型乾燥機に装着して使用する場合には次の点に注意してください。

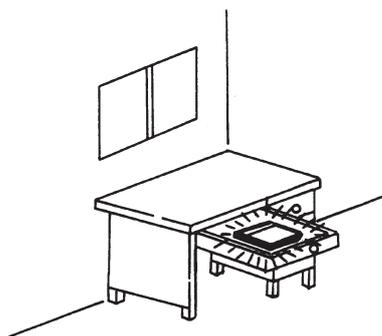
- (1) 弊社以外の乾燥箱にアルファヒータを装着して使用する場合には使用する前に弊社営業所までお問い合わせください。
- (2) 乾燥物によっては、乾燥できないものがありますので乾燥する前に弊社営業所までお問い合わせください。

補 足

使用時の注意事項の詳細は P1-15 以降に掲載されていますので、ご覧ください。

操作前の安全ルール

取扱説明書は、必ず、すぐに取り出せる所に保管してください。



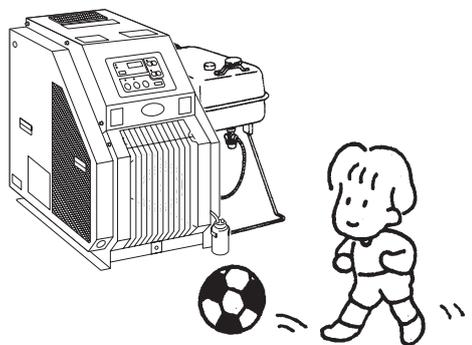
取扱説明書は、よく注意して読み、安全で正しい取り扱いを理解してください。



他の人に運転操作させる場合は、必ず、安全な運転操作方法を説明してからにしてください。



運転操作をおこなうときは、必ず、周囲の安全を確認してからにしてください。特に、子供に気をつけてください。



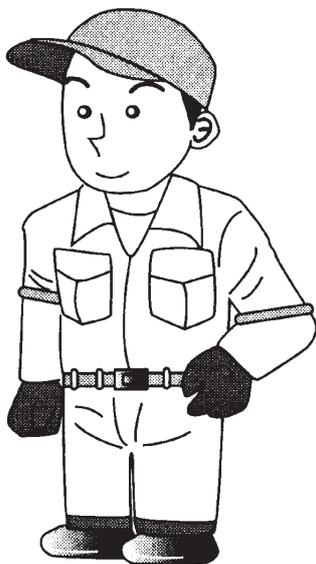
次のような人は、運転操作をしないでください。

- ① 過労、病気、薬物の影響、その他の理由により正常な運転操作ができない人
- ② 酒気をおびた人
- ③ 妊娠している人
- ④ 若年者
- ⑤ 未熟練者



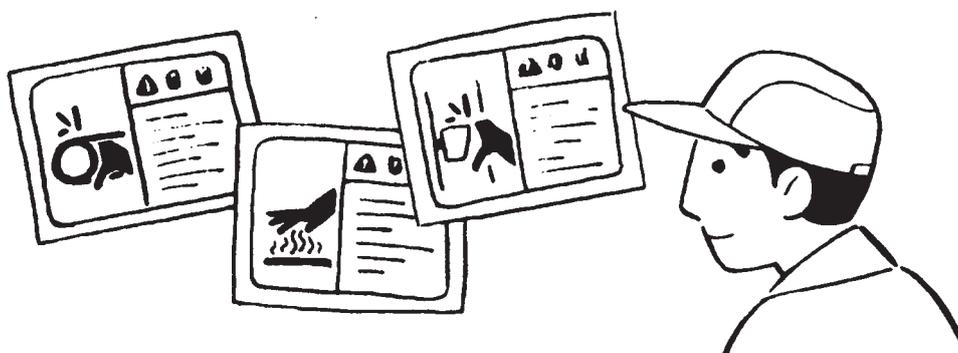
保護具を着用してください。

着用する衣服は乾燥機や周辺機器の可動部分に巻き込まれないように上着の袖口を止めて、ズボンのスソをすっきりとしてください。また、足元はすべりにくい靴を着用してください。



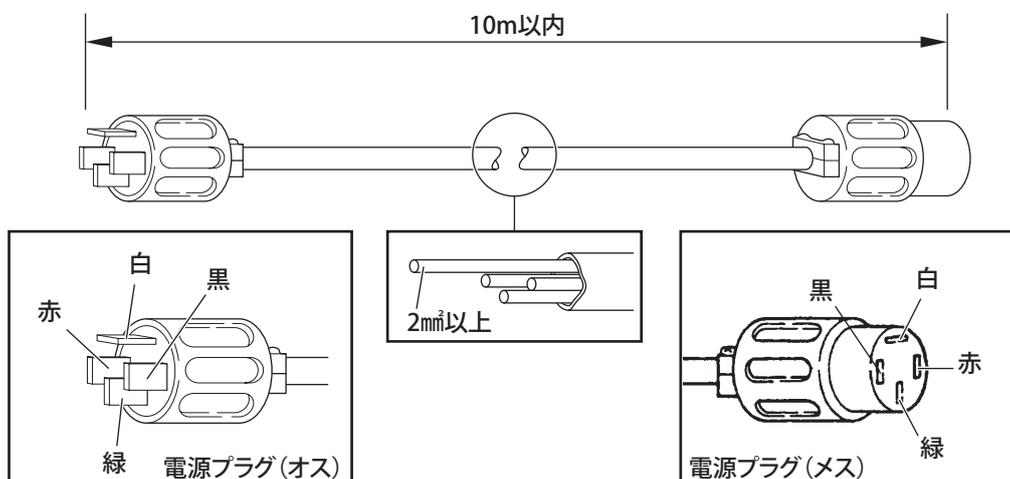
安全ラベルは全て、よく読み、理解するようにしてください。

(安全ラベルの貼り付けられている場所は、本書 P1-21・22 を参照してください。)

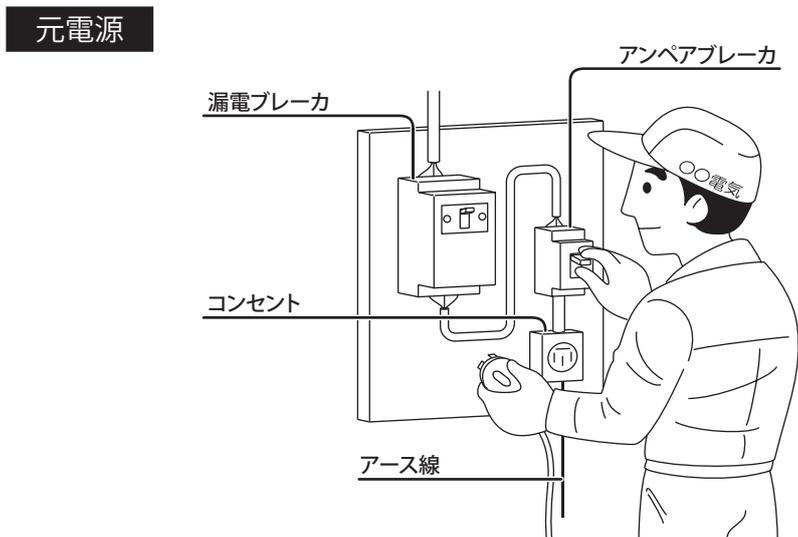


下記項目に従って、この製品専用の電源コードを準備してください。

- ①電気用品安全法、電気用品の型式認定マーク  製品の4芯コードで線芯が2mm²以上のものを使用してください。
- ②電源コードの長さを10m以内にしてください。
- ③電源コードの片側に付属の電源プラグ（メス）を組付け、もう一方には、電源プラグ（オス）を準備し組付けてください。また、電源プラグには、下図のように結線してください。



元電源には、漏電遮断器・アンペアブレーカを装備し、必ず、元電源はアースをとってください。尚、屋内配線工事は電気工事士の資格を持った人しかできませんので、電気工事店に依頼してください。

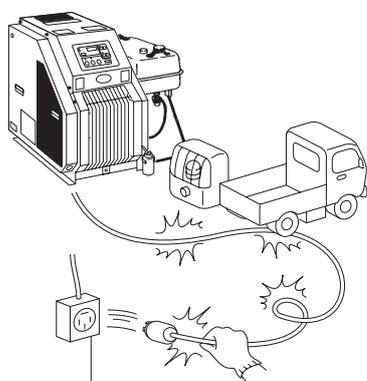


使用上の注意事項

⚠ 危険

電源コードを破損するようなことはしないでください。

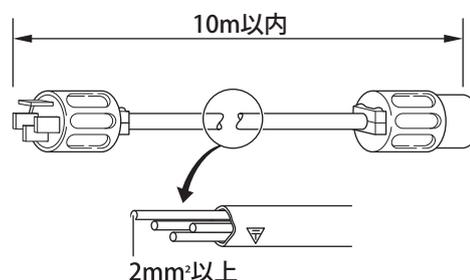
(傷つけたり、重いものをのせたり、熱器具に近づけたり、ねじったり、無理に曲げたり、引っ張りしないで行ってください。)



感電、火災の原因になります。

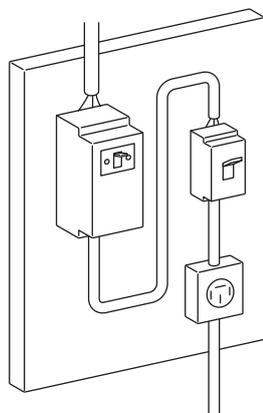
電源コードは、指定されたものを使用してください。

(詳細については、本書 P1-08 を参照ください。)



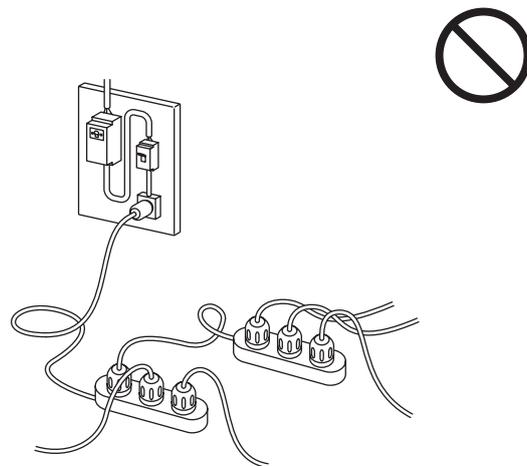
規格外のコードを使うと、感電・火災の原因になります。

電源は、漏電遮断器の装備されている専用コンセントから、必ずとってください。



漏電遮断器が装備されていないと感電の原因になります。

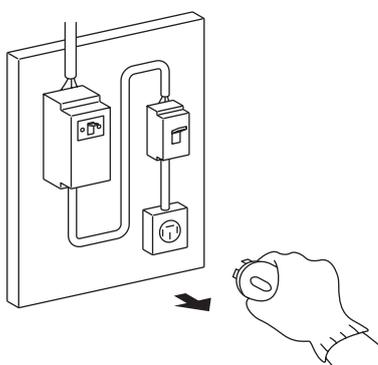
電源コードは、途中で接続したり、タコ足配線をしないでください。



発熱・発火の原因になります。

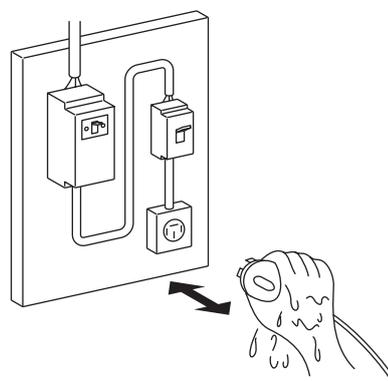
警告

電源プラグを抜くときは、必ず、プラグを持っておこなってください。



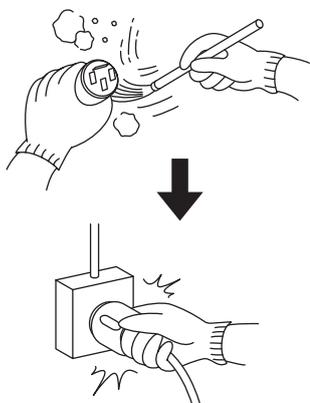
電源コードを引っ張って抜くと、発熱・発火の原因になります。

濡れた手で電源プラグなど電気部品に触れたり、ボタン操作をしないでください。



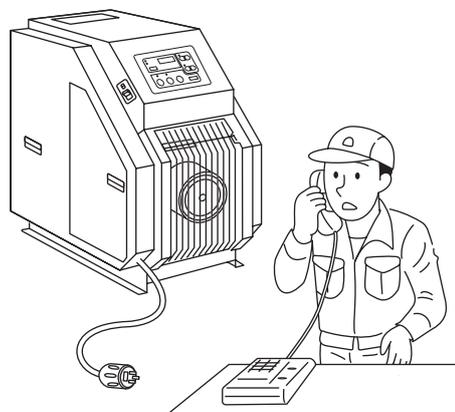
感電の原因になります。

電源プラグの刃および刃の取付面のホコリを定期的に清掃し、ガタのないように刃の根元まで差し込んでください。



ホコリが付着して、接続が不完全な場合は、感電・火災の原因になります。

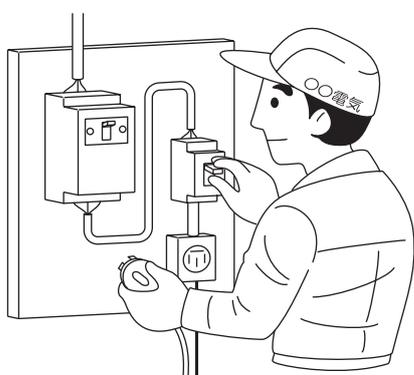
異常時は、運転操作を中止して電源プラグを抜き、お買い上げの販売店にご連絡ください。



異常のまま運転操作を続けると、感電・火災の原因になります。

警告

屋内の配線、安全器、プラグの定期点検を電気工事店に依頼してください。



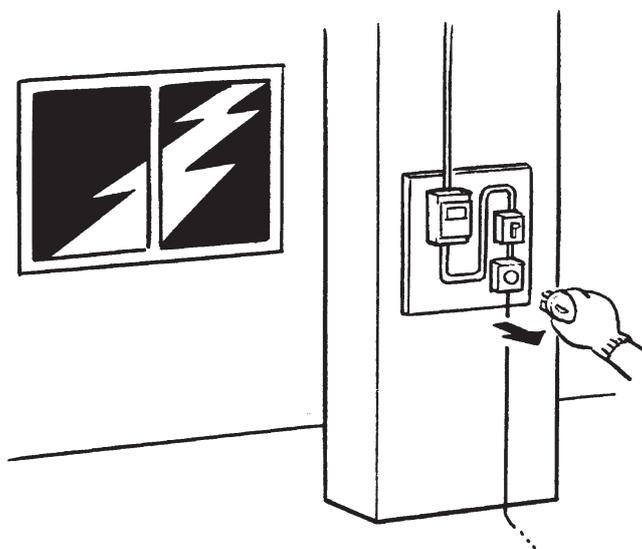
屋内の配線、安全器、プラグが古くなると、感電・火災の原因になります。

販売店以外の方は絶対に分解したり、修理改造はおこなわないでください。



分解・修理・改造に不備があるとケガをしたり、感電・火災の原因になります。

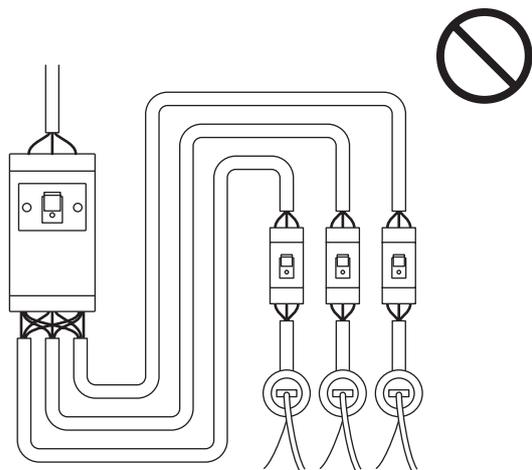
雷が鳴り出したら電源を切り、電源プラグを抜いてください。



電源プラグを抜かずにおくと、火災の原因になります。

⚠ 注意

漏電遮断器の併用はやめてください。



1つの製品が漏電していると、その他の機械も停止してしまいます。

取扱者以外の人に触れる恐れのあるときには、保護柵などで製品を囲ってください。



誤使用が原因でケガをすることがあります

夜間運転をするときには、隣家へ迷惑がかからないように十分配慮してください。



生活環境を守ることが大切です。

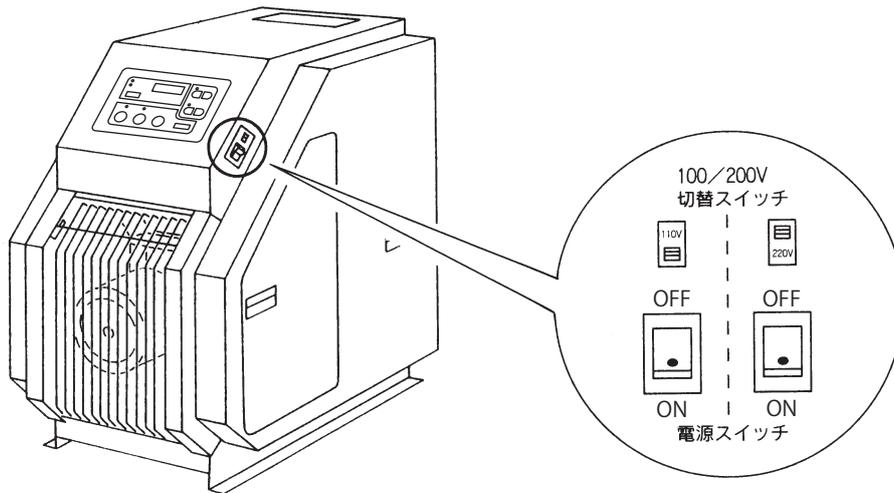
長期間使用しない場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。



取扱者以外の人に触れて、誤使用が原因でケガをすることがあります。

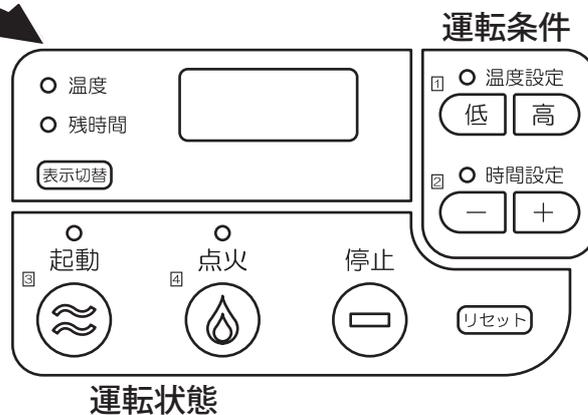
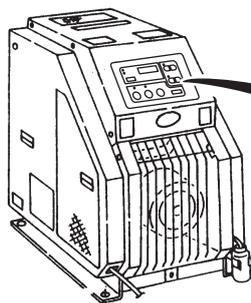
⚠ 注意

制御盤に電源プラグを差し込む前に、必ず電源切替スイッチのセット位置を確認してください。



電源電圧と電源切替スイッチのセット位置があっていない時には、制御盤あるいはバーナモータを焼損することがあります。

外気温度 + 10℃ ~ 15℃ 以内の温度設定はやめてください。



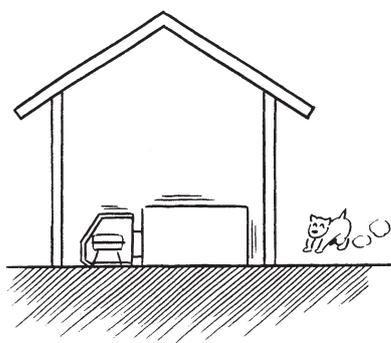
バーナは連続燃焼しますので、熱風温度が設定温度まで下がりきれずに乾燥物の品質を損なうことがあります。

概要説明

作業上の注意事項

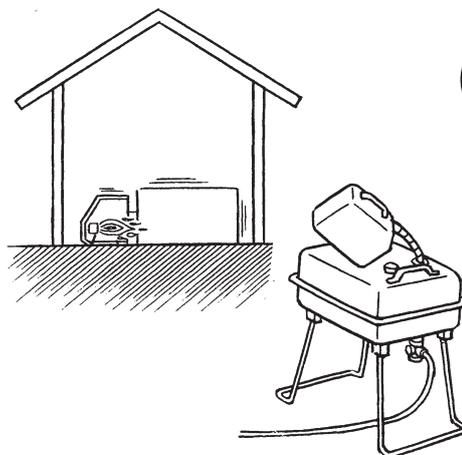
⚠ 危険

バーナの燃焼中は、できるだけ無人運転は、避けてください。



火災の原因になります

バーナの燃焼中は、燃料タンクに注油しないでください。



火災の原因になります

⚠ 警告

バーナの燃焼中や熱いあいだは、手をふれないでください。



ヤケドの原因になります。

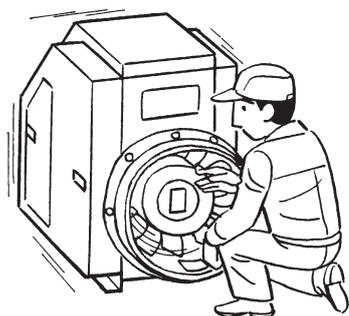
点検・整備あるいは掃除をするときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。



感電の原因になります。

⚠ 注意

運転中、送風機の吹き出し口に手を差し込まないでください。



ケガの原因になります。

製品の上に乗らないでください。

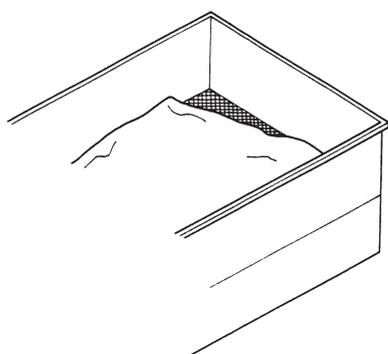


製品の破損の原因になります。

平面型乾燥機に使用する場合の注意事項

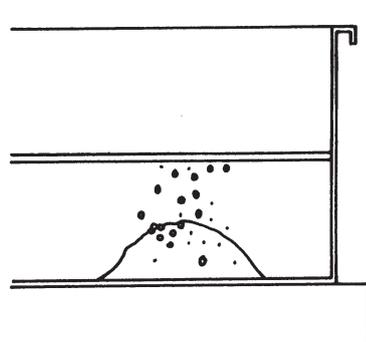
⚠ 危険

スノコ上に通気性の悪いシート（毛布や敷布など）を敷いたり、あるいは乾燥物を覆ったりしないでください。



風量が低下し、バーナの不完全燃焼や熱風温度が異常昇温となり、乾燥物の品質を損なったり、火災の原因になります。

乾燥物の直径が 2.5mm 以下のものは乾燥してはいけません。



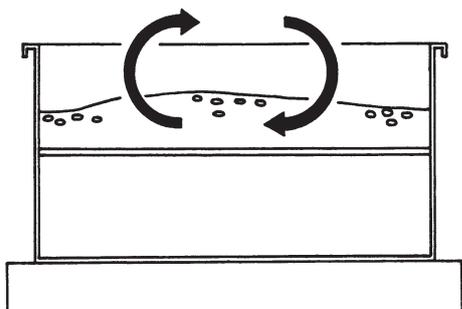
スノコの穴から乾燥物が落下し、火災の原因になります。

⚠ 危険

大切！

弊社以外の乾燥箱にアルファヒータを装着して使用する場合には、弊社営業所までお問い合わせください。

乾燥物は、定期的に上下の反転や攪拌をしながら乾燥してください。



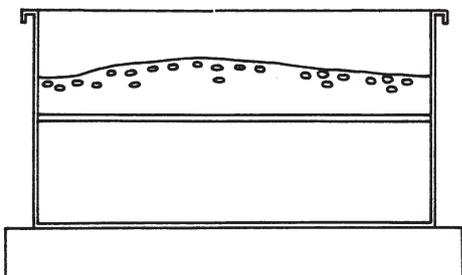
乾燥物の品質を損なうことがあります。

乾燥物によっては、乾燥できないものがありますので、弊社営業所までお問い合わせください。



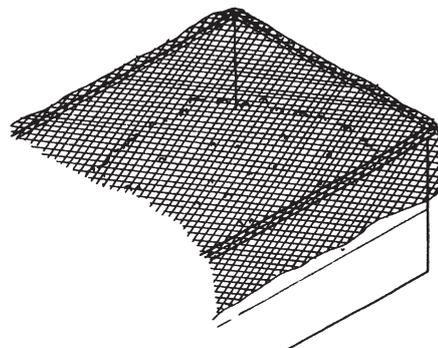
火災の原因や乾燥物の品質の劣化につながります。

乾燥物は、できるだけ層厚を薄くして乾燥してください。



風量が低下し、バーナの不完全燃焼や熱風温度が異常昇温となり、乾燥物の品質を損なったり、火災の原因になります。

乾燥物が軽く、風圧で吹き飛ばす場合には、通気性のよいネットで覆うか網袋に入れて乾燥してください。



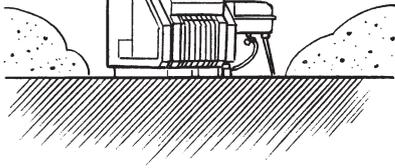
乾燥物の劣化や火災の原因になります。

火災予防上の注意事項

危険！

火災の原因となりますので、火災予防上の注意事項を守ってください。

製品の周りは、いつも清掃し、燃えやすいものを置かないでください。



灯油以外の燃料は使わないでください。

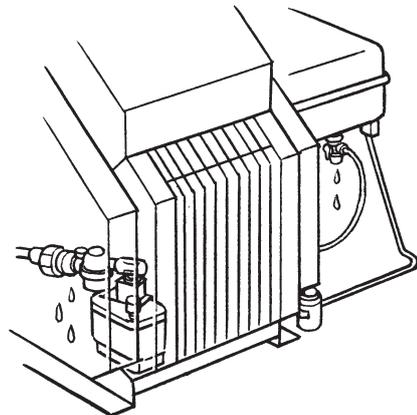
大切！



バーナの燃焼中や熱い間の注油はおこなわないでください。

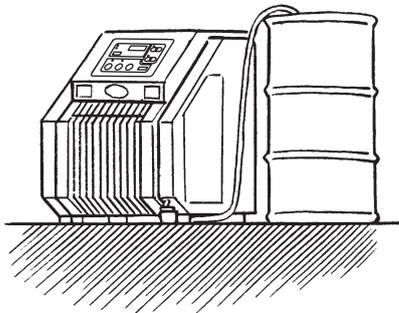


燃料系統部分から油洩れがあるときには、バーナを点火しないでください。

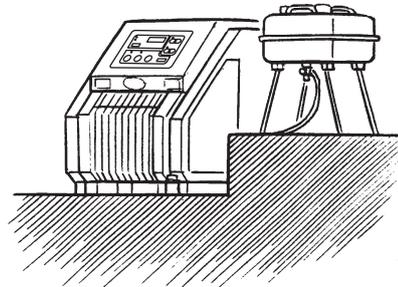


概要説明

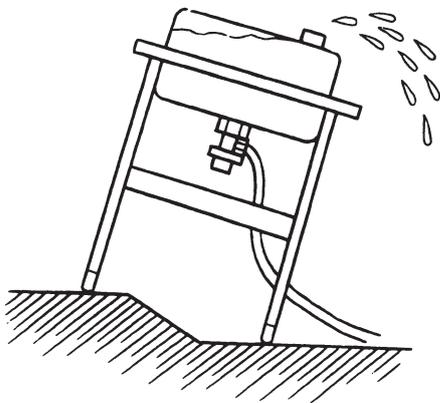
ドラム缶からの配管は、やめてください。



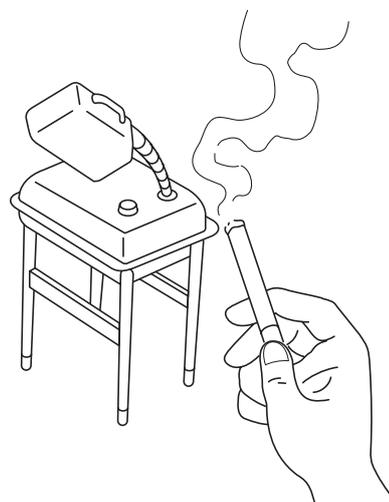
燃料タンクは、本機の据付け面と同一面に据付けてください。



燃料タンクは、水平な所に据付けてください。

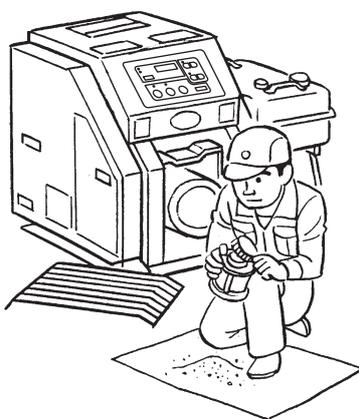


注油時あるいは、燃料システムの点検・整備時には火気を近づけないでください。

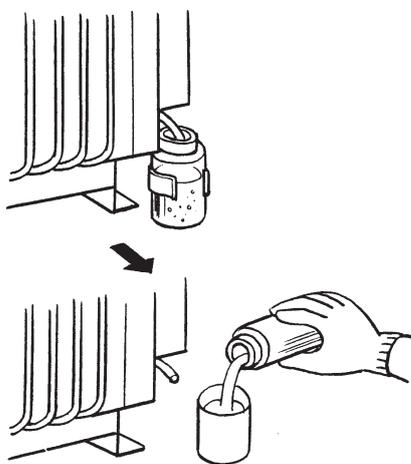


火災の原因になります。

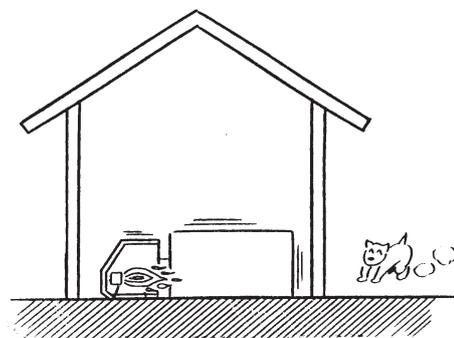
定期的にバーナの分解掃除を必ずおこなってください。



油受け容器にオーバーフローした灯油は、あふれる前に処理してください。



バーナが燃焼中は、できるだけ無人運転は避けてください。

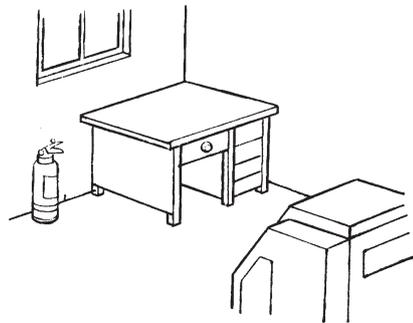


概要説明

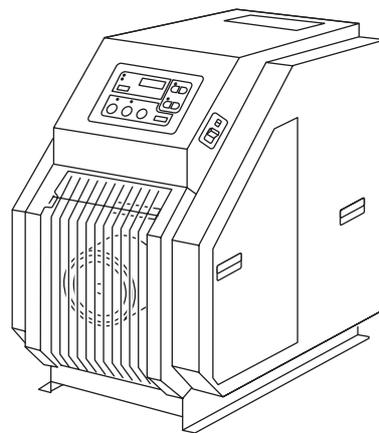
こぼれた燃料は、必ず拭き取ってください。(注油している時、油洩れがある時など)



本機の近くに消火器を準備してください。また、消火器の使用方法を必ず守ってください。



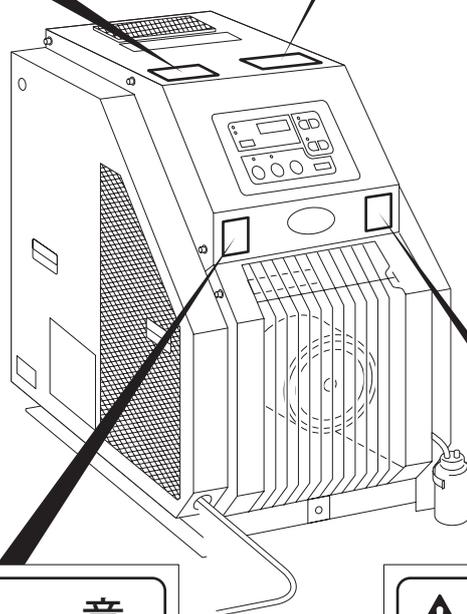
本機の吸引側に可燃物(紙、プラスチック等)を置かないでください。



安全ラベル

⚠ 危険	火災予防上の注意をよく読み、理解してください。
	<ol style="list-style-type: none">1. 乾燥機の周りは、常に清掃し燃えやすいものを置かないでください。2. 燃料には、灯油以外は絶対に使用しないでください。3. バーナが燃焼していたり、熱い間の注油はおこなわないでください。4. 燃料系統部分から灯油が漏れている場合には、運転をしないでください。5. 燃料は、ドラム缶より直接取らないでください。6. 油受け容器に溜まった灯油は、一杯になる前に処理してください。7. 消火器は、所定の場所に装備し、取り扱い上の注意を必ずまもってください。
021517A003	

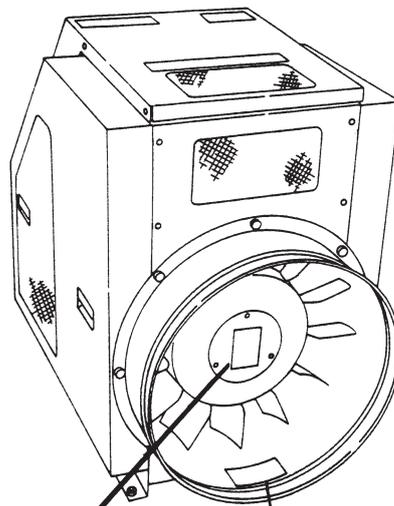
	⚠ 注意 本機の上に乗らないでください。 落下してケガをすることがあります。
021517A005	



⚠ 注意
このカバーを取り外すのは保守、点検の時だけです。 本機を起動させる時には必ず取り付けてください。
021517A011

⚠ 注意
点検や調整するときは運転を停止し、元電源を切って行ってください。 感電やケガをすることがあります。
021517A016

概要説明



▲ 注 意
運転中にカバーを開けないでください。 ベルトに手が触れてケガをすることがあります。
021517A007

▲ 注 意	
	運転中は絶対に手を差し込まないこと。 回転部が手に触れてケガをします。
021509A002	

第 2 章

主要諸元・外觀寸法

KFA-480B-TC	2-02
KFA-480C-TC	2-02

2-02

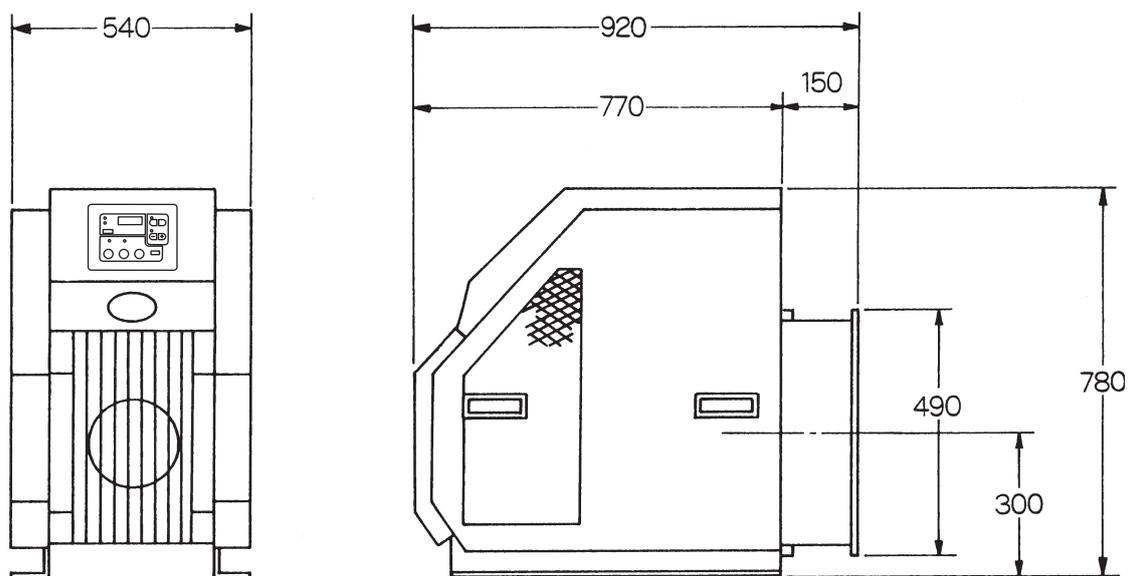
主要諸元・外観寸法

主要諸元

型 式 名	KFA-480B-TC	KFA-480C-TC
燃 焼 量 l/時	1.1~4.5	2.0~7.0
発 熱 量 Kcal	37.000 (max)	62.000 (max)
重 置 kg	75	75
安 全 装 置	熱風温センサ・ノーヒューズブレーカ・風圧センサ・サーモスタット・フレームアイ	

外観寸法

(単位：mm)



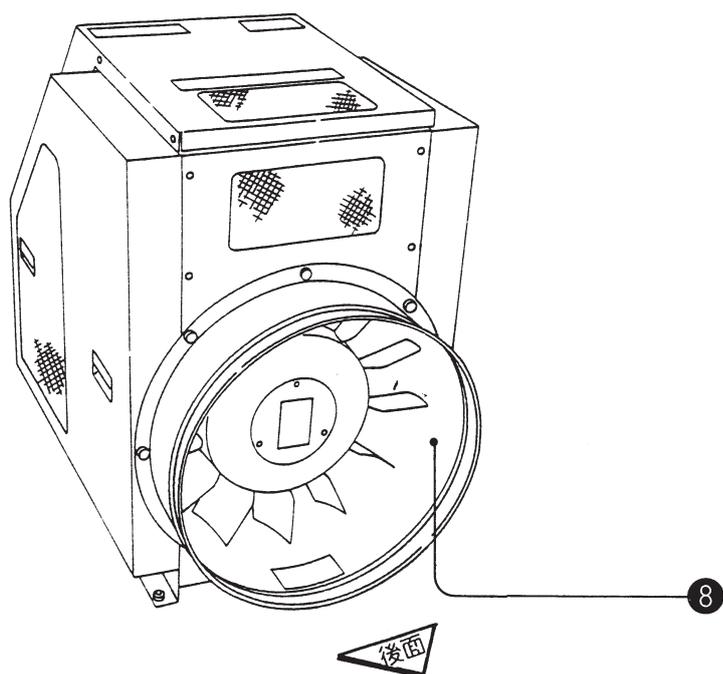
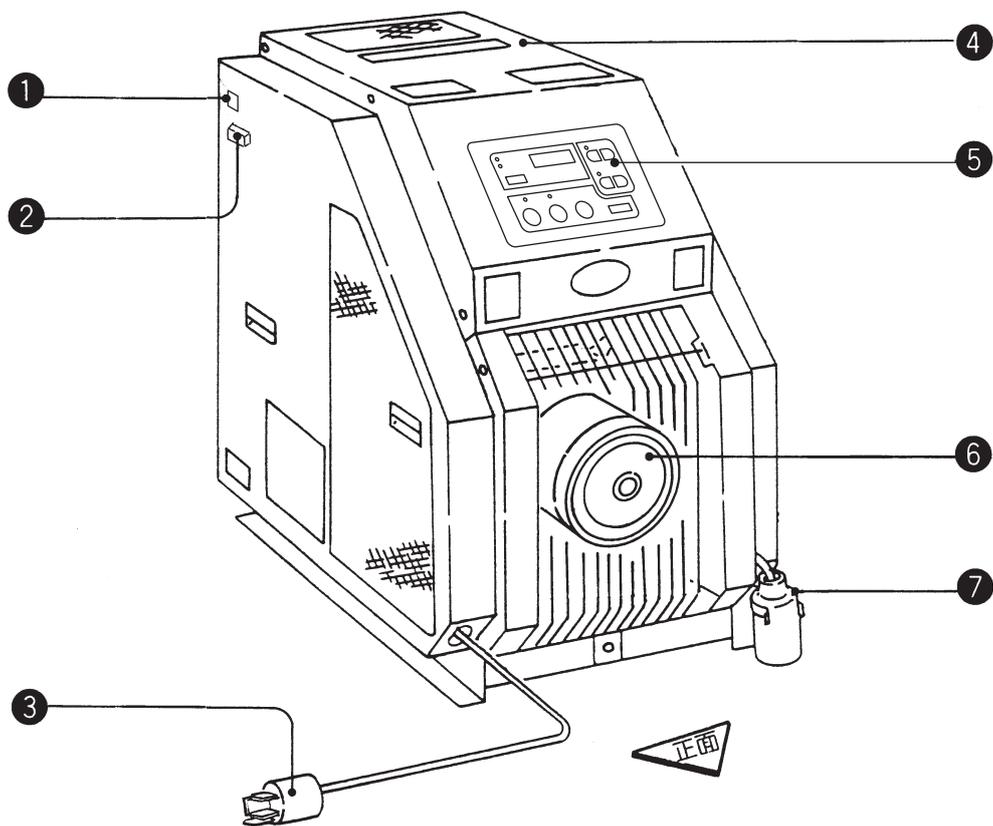
第3章

各部の名称と働き

本機の名称と働き	3-02
制御盤の名称と働き	3-04
バーナ部・安全装置とセンサ類の名称と働き	3-05

各部の名称と働き

本機の名称と働き



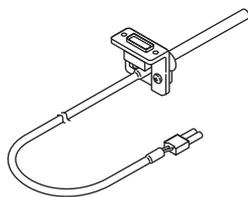
各部の名称と働き

No.	名 称	働 き
①	熱風温センサ差込口	付属の熱風温センサをここに差し込みます。
②	自動風向板電源口	オプションである自動風向板の電源をここから取ります。
③	電源入力コネクタ	電源プラグをここに差し込みます。
④	上部カバー	送風機ベルトの張り調整をおこなうときに開けます。
⑤	制 御 盤	ボタン操作により送風機の稼働、バーナを着火・消火することができます。
⑥	バ ー ナ	灯油を引火させ、熱を発生します。
⑦	油 受 け 容 器	バーナからオーバーフローした灯油を受ける容器です。
⑧	送 風 機	バーナで発生した熱を機外に出します。

付属品

付属品には次のものがありますので、確認してください。

①熱風温センサ…1
(ブラケット付)



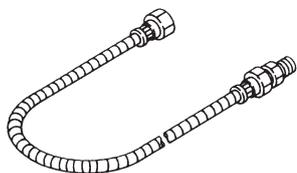
②モータプーリ…1



③Vベルト…1
(A-37吋)



④燃料ホース…1
(ニップル付)



⑤電源プラグ…1

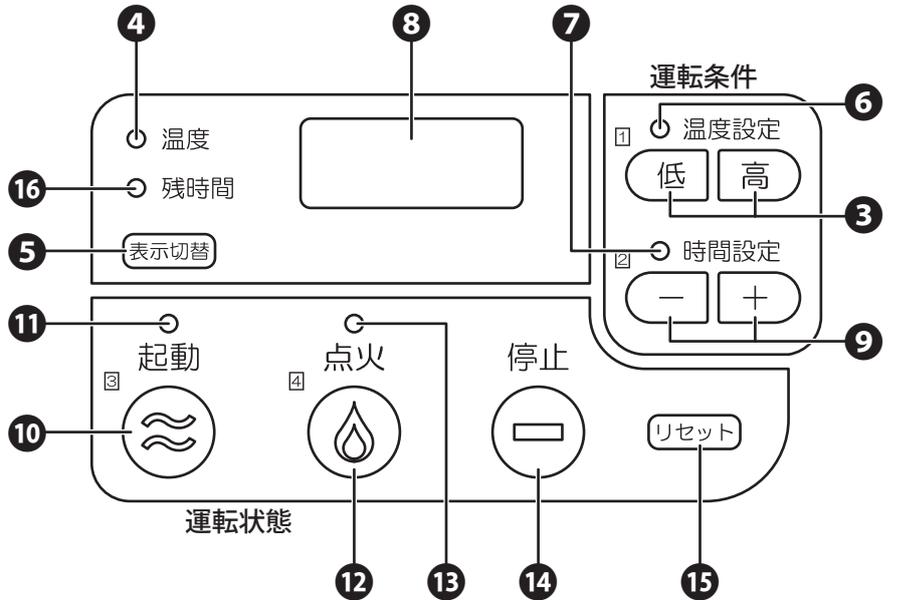
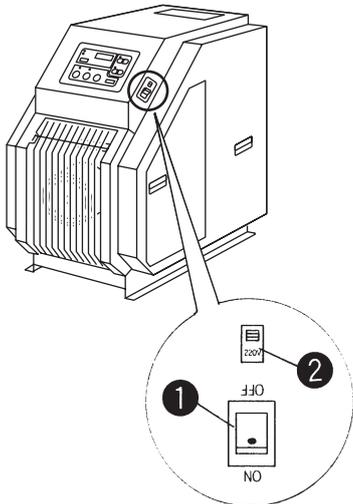


補足

燃料タンク・モータはオプション(別売)となっています。

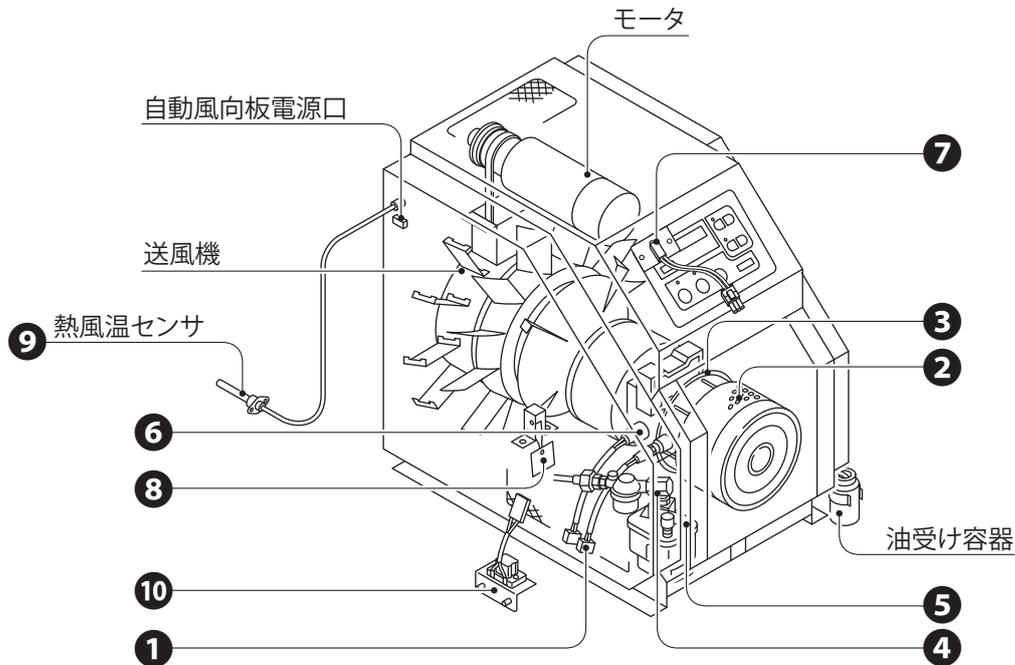
各部の名称と働き

制御盤の名称と働き



No.	名 称	働 き
①	電 源 ス イ ッ チ	制御盤の電源を入・切することができます。
②	電 源 切 替 ス イ ッ チ	電源電圧によってスイッチを切替えます。
③	温 度 設 定 ボ タ ン	乾燥する熱風温度を設定することができます。
④	温 度 ラ ン プ	ランプが点灯し、表示部に温度を表示します。
⑤	表 示 切 替 ボ タ ン	1回押すごとに、温度・残時間のランプの点灯する位置が変わります。
⑥	温 度 設 定 ラ ン プ	温度設定ボタンを押すとランプが点灯し、表示部に設定温度を表示します。
⑦	時 間 設 定 ラ ン プ	時間設定ボタンを押すとランプが点灯し、表示部に設定時間を表示します。
⑧	表 示 部	温度・残時間・設定温度・設定時間を表示します。
⑨	時 間 設 定 ボ タ ン	稼働時間を設定することができます。
⑩	起 動 ボ タ ン	送風機を稼働することができます。
⑪	起 動 ラ ン プ	起動ボタン ON すると点灯します。
⑫	点 火 ボ タ ン	バーナの着火ができます。
⑬	点 火 ラ ン プ	点火ボタン ON すると点灯し、燃焼中は点滅します。
⑭	停 止 ボ タ ン	送風機の停止、バーナの消火ができます。
⑮	リ セ ッ ト ボ タ ン	押すとブザーを止めることができます。再度押すと異常メッセージを消すことができます。
⑯	残 時 間	時間設定時の残時間が表示されます。

バーナ部・安全装置とセンサ類の名称と働き



注意 モーターはオプション(別売)です。

No.	名 称	働 き
①	点 火 ヒ ー タ	着火時、赤熱しバーナ回転部から噴霧された灯油に引火します。
②	エ ア ー フ ィ ル タ	バーナ回転部に取り込まれる大気中のゴミ・ホコリを取り除きます。
③	バ ー ナ 回 転 部	乾燥中、回転しながらポンプから吐出された灯油を噴霧し続けます。
④	電 磁 ポ ン プ	定レベル装置から灯油をくみあげ、バーナ回転部側に吐出します。
⑤	定 レ ベ ル 装 置	ポンプにかかる油圧を一定に保ち、安定した油量をポンプに供給する装置です。
⑥	フ レ ー ム ア イ	常時、バーナの燃焼状態を検知し、なんらかの原因で火が消えるとポンプを停止し、バーナを消火します。
⑦	サ ー モ ス タ ッ ト	なんらかの原因によって、熱風温度が100℃になるとポンプを停止し、バーナを消火します。
⑧	風 圧 セ ン サ	バーナ燃焼中、なんらかの原因で風量が減少した場合にポンプを停止し、バーナを消火します。
⑨	熱 風 温 セ ン サ	乾燥室の温度を検知し、バーナ燃焼量をコントロールします。80℃以上の温度を検知したら、バーナを消火します。
⑩	感 震 セ ン サ	地震を感知し、ポンプを停止してバーナの火を消します。

第4章

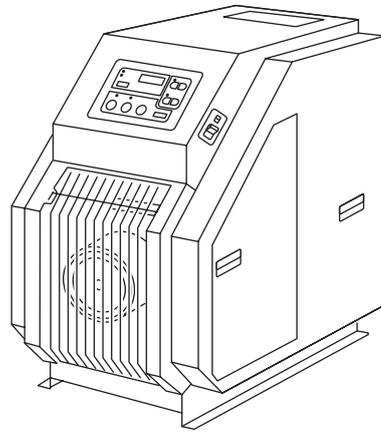
据 付 け

据付け上の注意事項	4-02
-----------------	------

据付け上の注意事項

⚠ 危険

可燃性ガスを使用している機器を、製品の据付けてある作業所には設置しないでください。



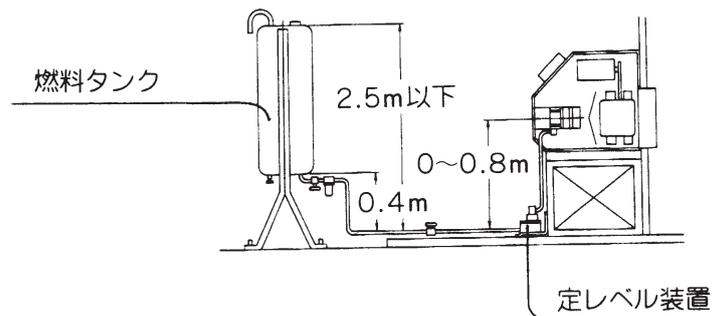
万一、ガスが漏れて製品の周囲に溜まると、引火して火災の原因になります。

燃料タンクを据付けるときには、次の項目を守ってください。

- (1) 油面の高さがポンプ吐出口から 0.4m ~ 2.5m の範囲内にあるものを据付けてください。
- (2) 燃料タンクと定レベル装置の間にストレーナ（90 メッシュ以上）を取り付けてください。

補 足

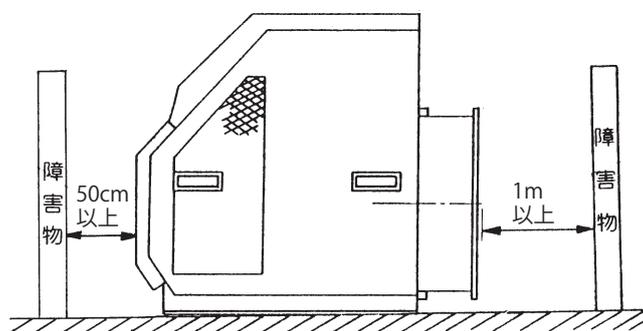
本機の据付け面が、燃料タンクの据付け面よりも高くなる場合には、ポンプ別置部品セット（オプション：別売）を使用してください。尚、詳細については P9-02、03 を参照してください。



バーナの失火あるいは火災の原因になります。

⚠ 危険

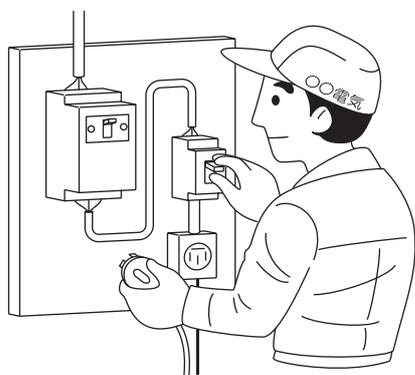
送風機排風口の1m以内および本機吸気口50cm以内には障害物を置かないでください。



風量が低下し、バーナにカーボンが付着しやすくなり、火災の原因になります。

⚠ 警告

据付け後、元電源の契約電力の確認および屋内の配線の点検を、必ず、電気工事店にお願いしてください。



電気回路容量不足や施工不備があると、感電・火災の原因になります

移設するときには、お買い上げの販売店あるいは弊社営業所にご相談ください。



据付けに不備があると、感電・火災の原因になります。

据付け上の注意事項

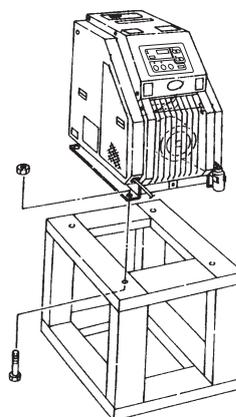
⚠ 警告

本体からアースを取ってください。
アース線はガス管・水道管・避雷針・電話のアース線に接続しないでください。



アースを取らないと感電の原因になります。

本体を地上よりも高い所に据付ける場合には、必ず本体をボルト・ナットで据付け面に固定してください。



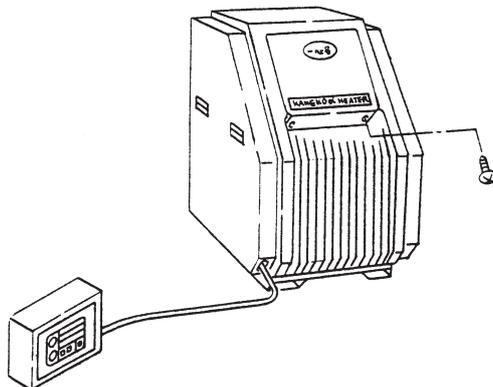
本体が落下して、ケガの原因になります。また、本体破損の原因になります。

⚠ 注意

本機の周囲温度が 40℃以上になる作業所に設置する場合には、遠隔操作延長コードセット（オプション：別売）を使用し、制御盤を本体から離し、周囲温度が常時 40℃未満の場所に設置してください。

補 足

遠隔操作延長コードセット（型式名：KFAO-50EC）については P9-02 を参照してください。



周囲温度が 40℃以上になる作業所に設置すると、誤動作を起こすことがあります。

第5章

操作説明

操作ボタンによる動作	5-02
運転の種類.....	5-02
電源の入れ方・切り方	5-03
本機の停止とバーナの消火	5-04
シーズン前に	5-05
始動の前に	5-06
タイマ運転モード	5-07
連続運転モード	5-08

操作ボタンによる動作

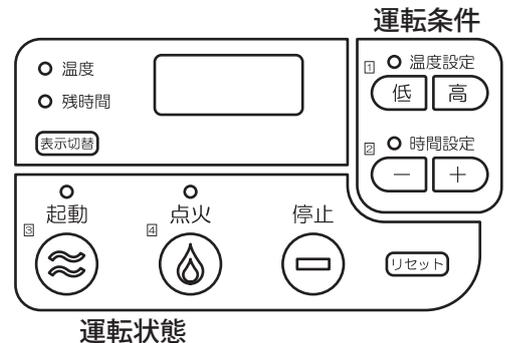
各ボタンによる動作は、次の通りです。

(1) **起動** ボタンを押した場合

内蔵されている送風機が起動します。

(2) **点火** ボタンを押した場合

点火ヒータが赤熱し、約 30 秒後にポンプから灯油が吐出されると同時にバーナモータが回転し、バーナが着火します。バーナが着火しない時には、自動的に一度だけ、再点火動作をおこないます。



運転の種類

運転の種類には、次の 2 つがあります。

(1) タイマ運転モード

時間設定ボタンを押して稼働時間をセットし、**起動** ボタンあるいは **点火** ボタンを押すと、タイマ運転モードとなります。

● **起動** ボタンを押した場合

セットした稼働時間が経過すると送風機が停止します。

● **点火** ボタンを押した場合

セットした稼働時間の 10 分前になると、バーナが消火し、5 分間送風機が回転します。

(2) 連続運転モード

時間設定をせずに **起動** ボタンあるいは **点火** ボタンを押すと連続運転モードとなります。

● **起動** ボタンを押した場合

停止 ボタンを押すまで、送風機が回転し続けます。

● **点火** ボタンを押した場合

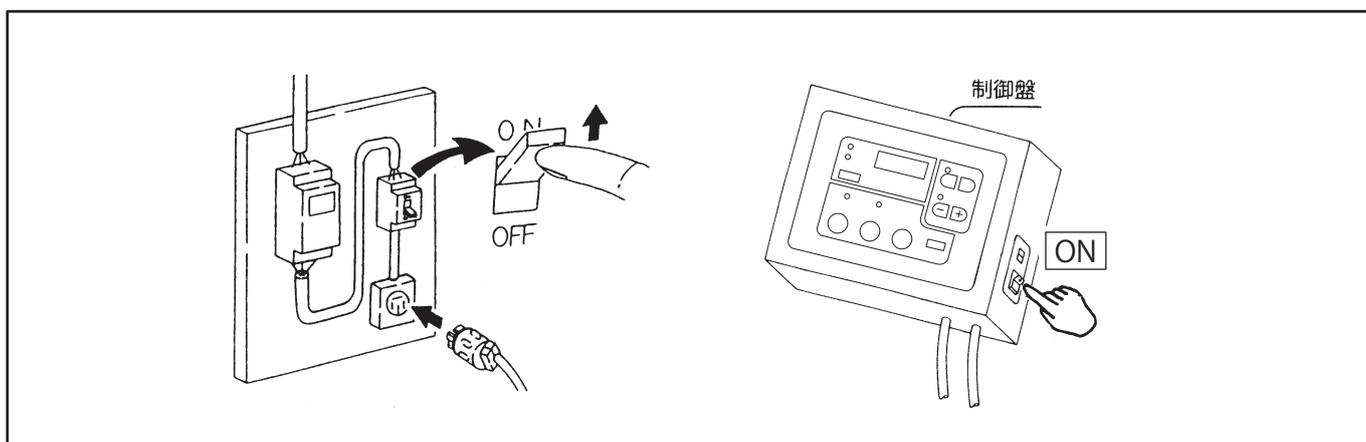
停止 ボタンを押すまで、バーナが燃焼し続けます。

電源の入れ方・切り方

電源の入れ方

本機を始動するときに、電源を入れます。

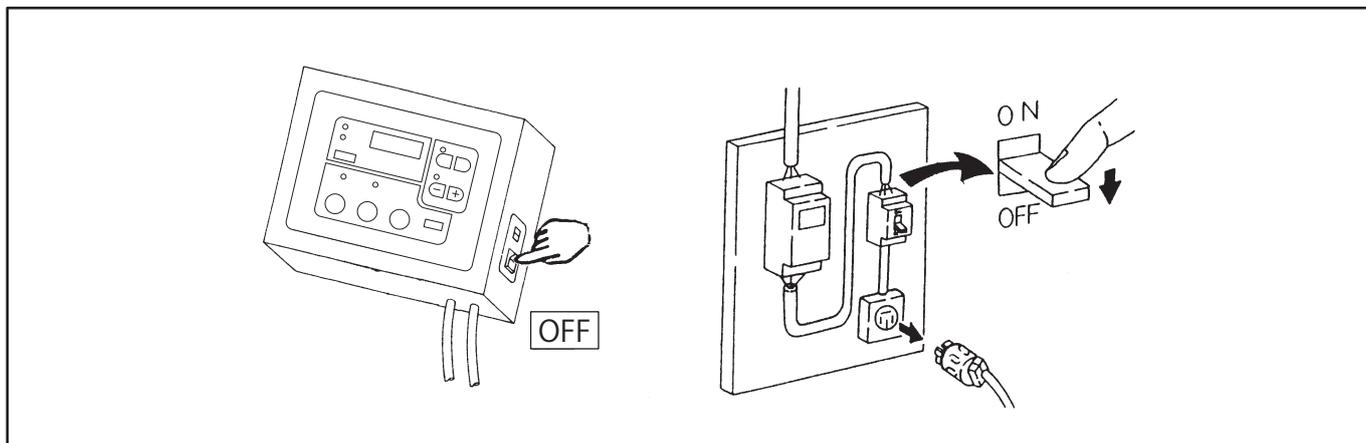
- ①電源プラグを電源入力コネクタに差し込んでください。
- ②アンペアブレーカを"ON"または"入"にしてください。
- ③制御盤の **電源** スイッチを押して、"ON"の状態にしてください。



電源の切り方

本機を始動するときに、電源を入れます。

- ①制御盤の **電源** スイッチを'OFF'の状態にしてください。
- ②アンペアブレーカを'OFF'または'切'にしてください。
- ③電源プラグを電源入力コネクタから抜いてください。



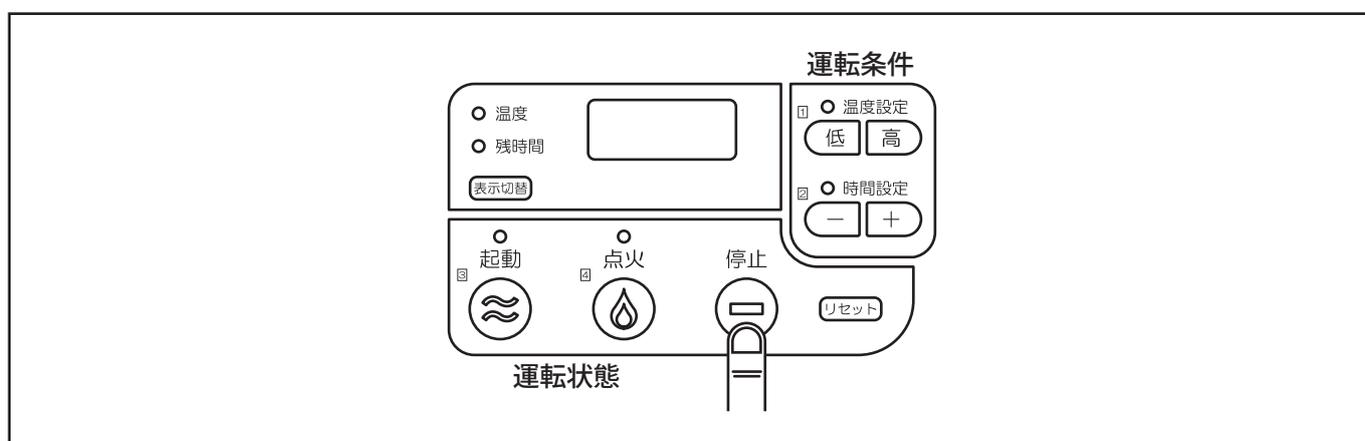
「送風機本機の停止」と「バーナの消火」

「本機を停止する」あるいは「バーナを消火する」には、次の運転操作をおこなってください。

●本機を停止する方法

(1) バーナが燃焼していない場合

- **停止** ボタンを押してください。

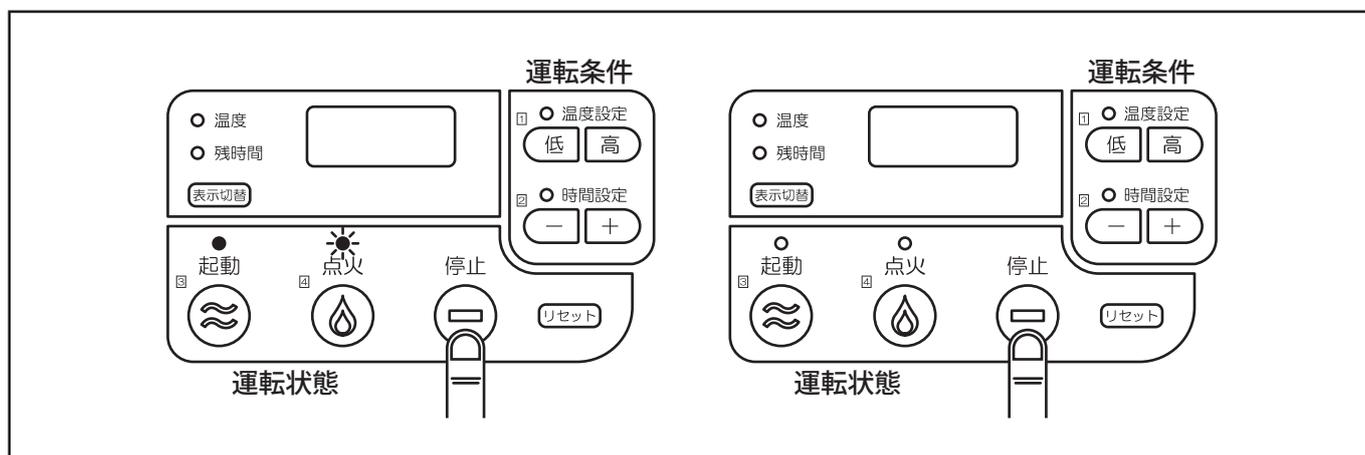


(2) バーナが燃焼している場合

- **停止** ボタンを押してください。バーナが消火し約5分後に送風機が停止します。

警告！

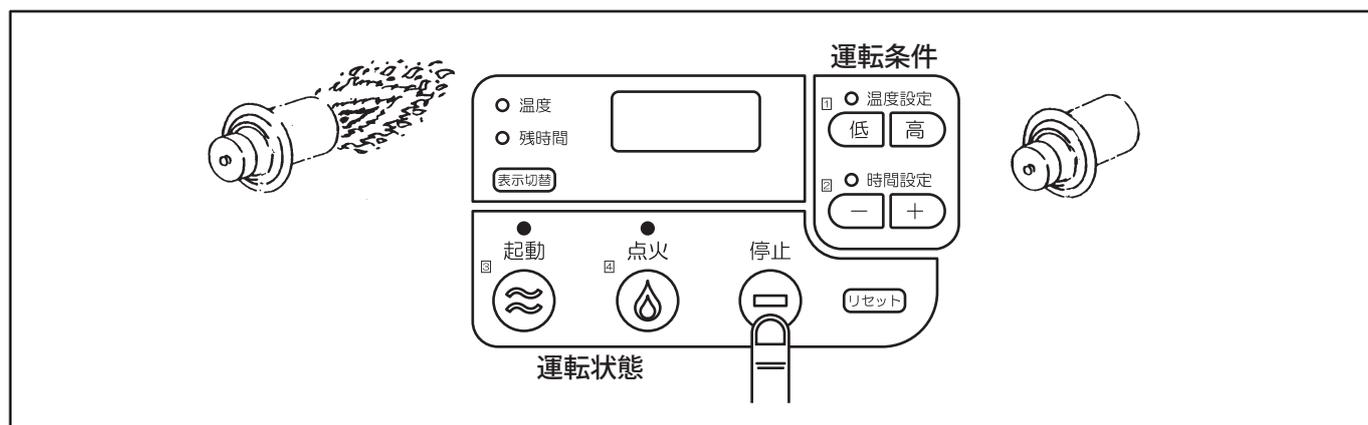
バーナ消火後、再び **停止** ボタンを押すと送風機・バーナファンはすぐに停止しますが長時間(15分以上)燃焼時はバーナが過熱していますので再度 **停止** ボタンは押さないでください。



●バーナを消火するには、次の2つの方法があります。

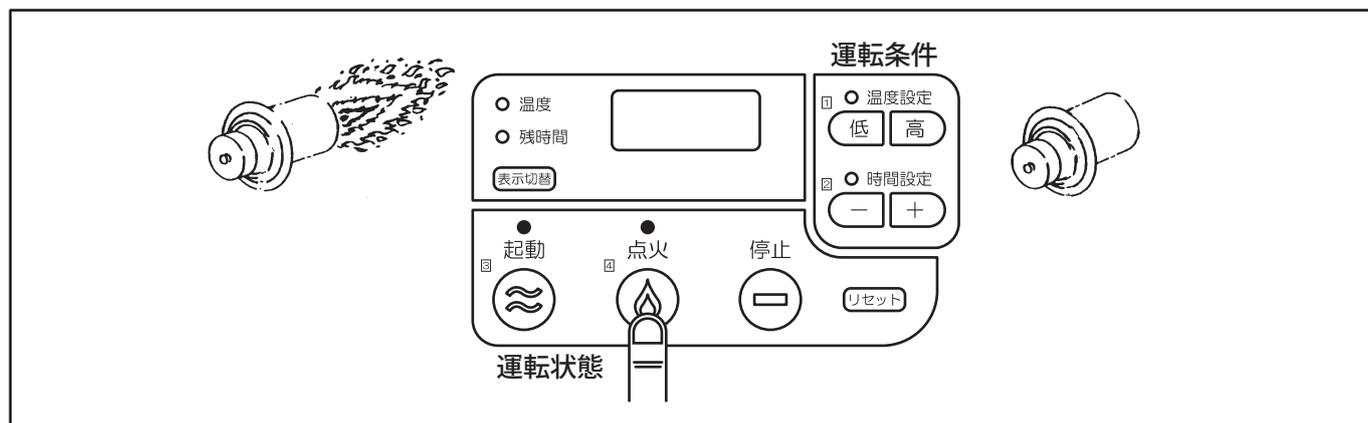
(1) 送風機（本機・バーナ）全体を停止する場合

- ① **停止** ボタンを押してバーナを消火する。
バーナが消火し、約5分後に本機が自動で全停止します。



(2) バーナを消火し送風を継続する場合

- ① **停止** ボタンを押してバーナを消火する。
バーナが消火し、設定時間が経過すると本機が自動で全停止します。



シーズン前に

アルファヒータを使用する時期が近づきましたら、次のことをおこなってください。

1. P6-02 の点検・整備一覧表にもとづき、点検・整備をおこなってください。
2. 燃料タンクに燃料を注油してください。
3. 燃料ホースのエア抜きをおこない、定レベル装置に接続してください。

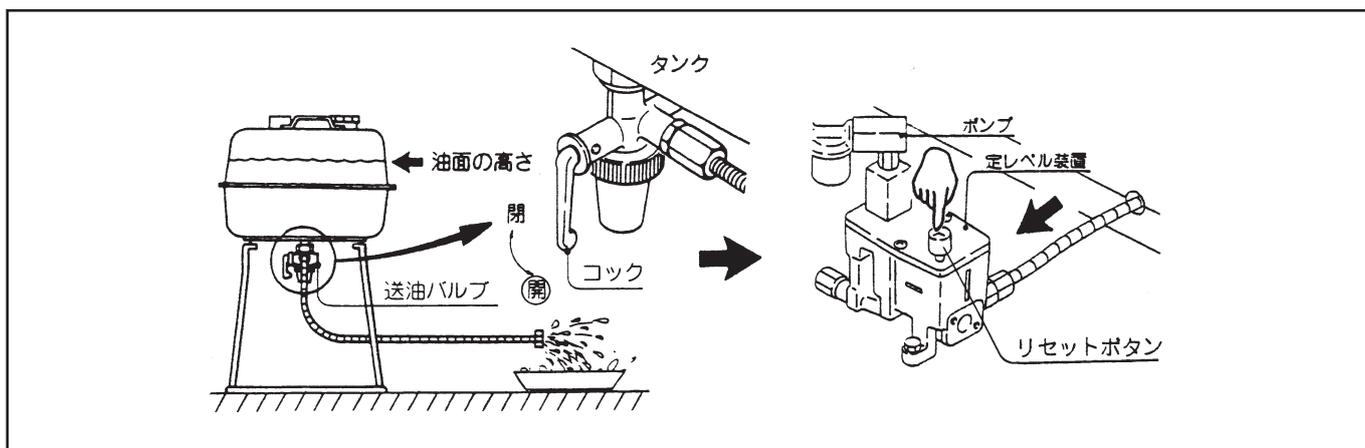
大切！

エア抜きを行う場合には、あらかじめ受皿とウエス等を準備してください。また、こぼれた灯油は必ず拭きとってください。

操作説明

エアー抜きのしかた

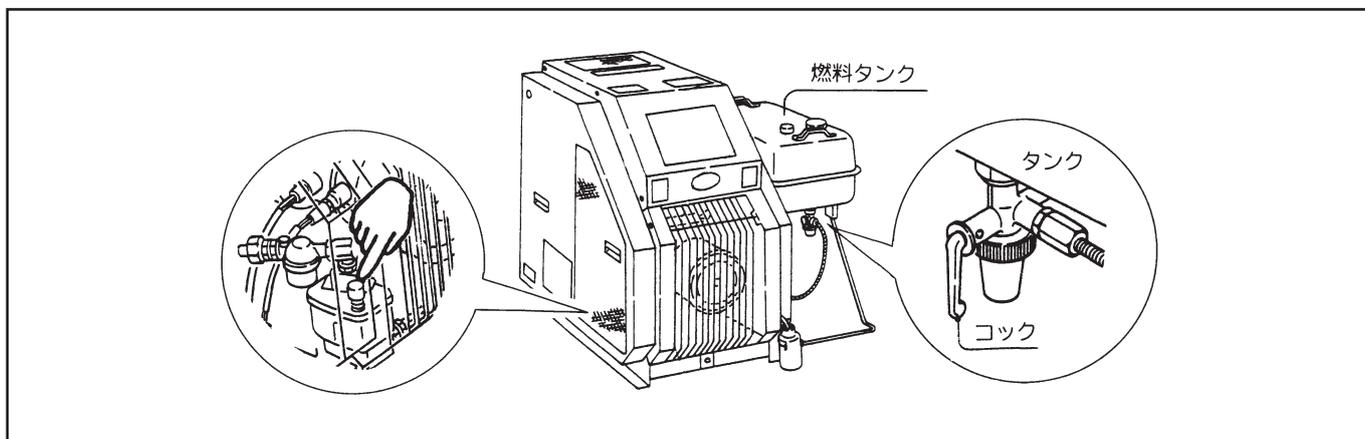
- ❶ 燃料ホースの先端を燃料タンクの注油より低い位置にし、送油バルブのコックを完全に開いてください。
- ❷ 燃料ホースから灯油が吐出するのを確かめてから定レベル装置に接続してください。
- ❸ 定レベル装置の上面にあるリセットボタン（赤）を押してください。



始動の前に

乾燥毎に始動に先立ち次のことをおこなってください。

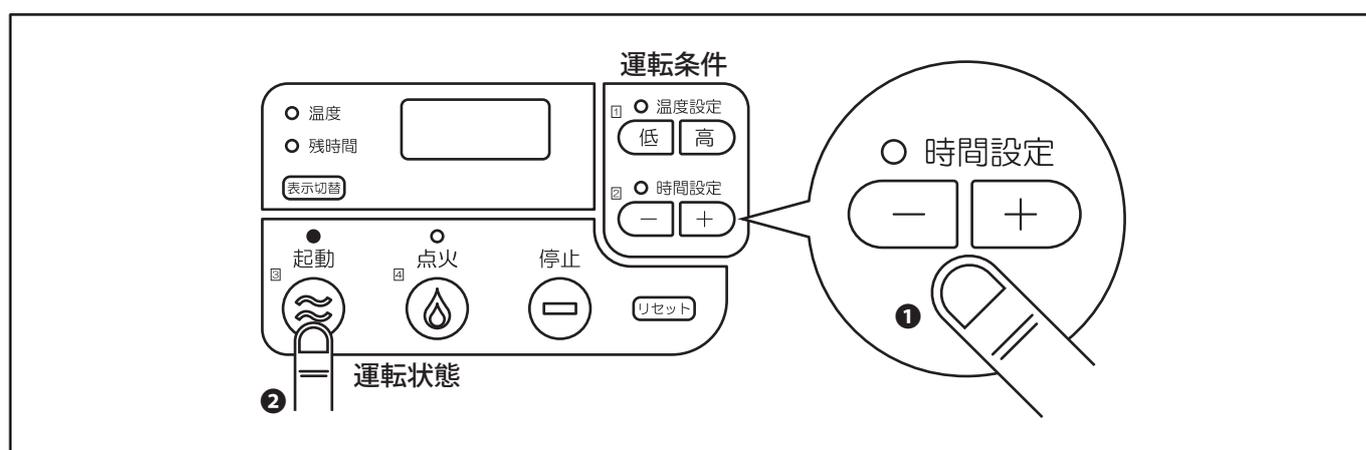
1. 燃料タンクには、燃料が十分に入っているか確かめてください。
2. 燃料タンク下の送油バルブのコックが完全に開いているか、確かめてください。
3. アルファヒータをしばらく使わなかった場合には、定レベル装置の上面にあるリセットボタン（赤）を押してください



タイマ運転モード

(1) 通風運転の場合

- ① 時間設定 の「-」、「+」ボタンを押して、希望の稼働時間を設定してください。
- ② 起動 ボタンを押してください。



(2) 乾燥運転の場合

- ① 温度設定 の「低」、「高」ボタンを押して、熱風温度を設定してください。

大切！

温度設定ボタンで熱風温度をあわせる時には
 KFA-480B-TC…外気温度+ 10℃以上
 KFA-480C-TC…外気温度+ 15℃以上 にあわせてください。

補 足

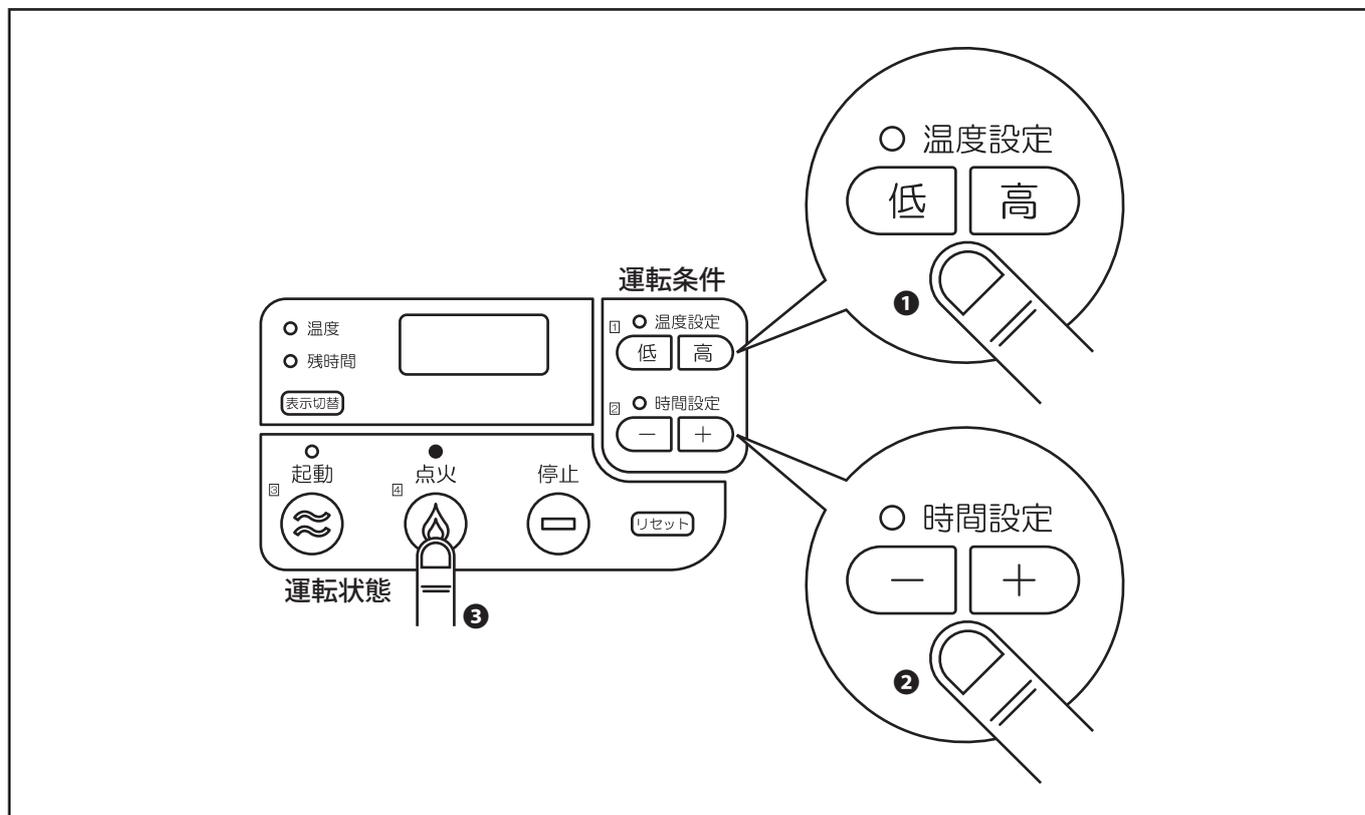
外気温度は本機起動前であれば、熱風温センサ検出温度で確認できます。熱風温センサ検出温度は、表示切替スイッチを押して温度ランプを点灯させると、表示部に温度が表示されます。

- ② 時間設定 の「+」、「-」ボタンを押して、希望の燃焼時間を設定してください。

大切！

乾燥物の水分に応じて、過乾燥にならないように、燃焼時間を短めに設定してください。

- ③ 点火 ボタンを押してください。

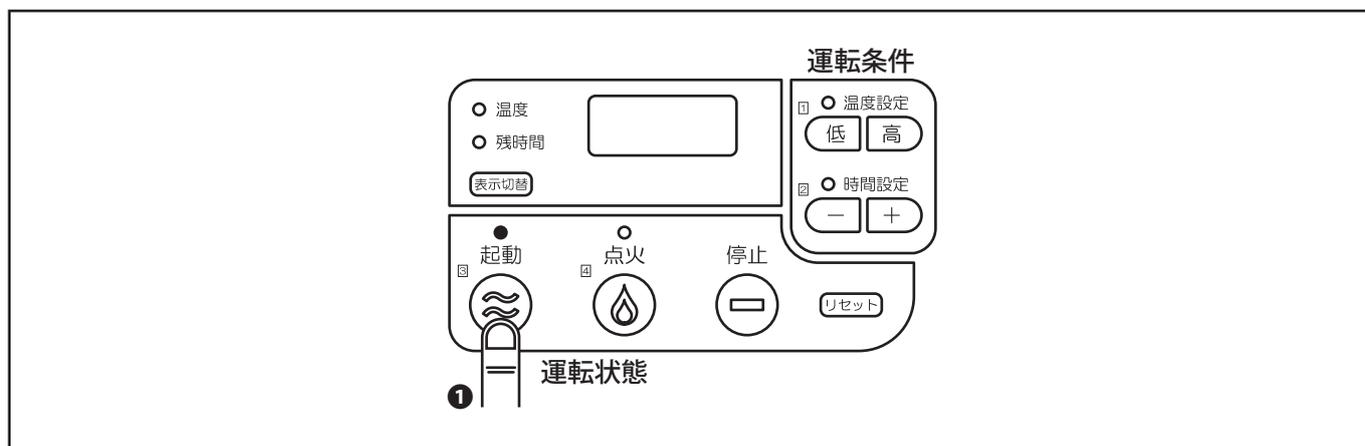


連続運転モード

(注意：時間設定をしないで起動または点火すると、連続運転となります。)

(1) 通風運転の場合

- ① **起動** ボタンを押してください。



(2) 乾燥運転の場合

- ① 温度設定 の「低」、「高」ボタンを押して、熱風温度を設定してください。

大切！

温度設定ボタンで熱風温度をあわせる時には
KFA-480B-TC…外気温度+ 10℃以上
KFA-480C-TC…外気温度+ 15℃以上 にあわせてください。

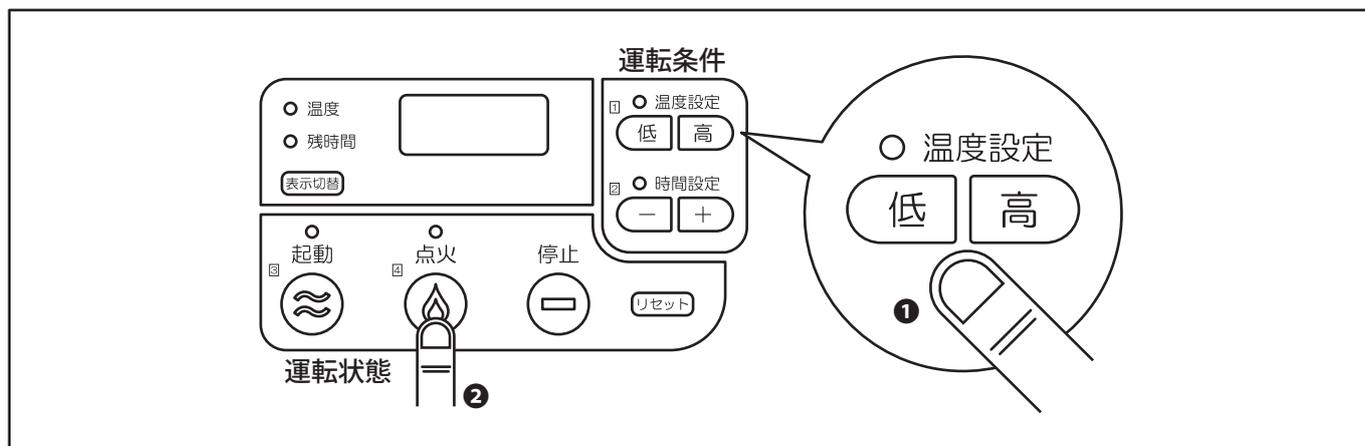
補 足

外気温度は本機起動前であれば、熱風温センサ検出温度で確認できます。熱風温センサ検出温度は、表示切替スイッチを押して温度ランプを点灯させると、表示部に温度が表示されます。

大切！

連続乾燥となりますので、過乾燥にならないように十分注意してください。

- ② 点火 ボタンを押してください。



第6章

点検・整備

6-02

点検・整備

点検・整備一覧表					
	実施項目	点検・整備の時期			
		参照 ページ	シーズン 前	シーズン 中	シーズン 終了後
配線・配管	電源プラグ・コードの確認	6-04	○		
	油漏れの確認	6-04	○	○	
エアフィルタ	エアフィルタの掃除	6-05	○	○ 4～5乾燥毎	
燃料系統	油受け容器の残油処理	6-06		○ 随時	
	定レベル装置内のフィルタの洗浄	6-07	○		
燃焼系統	バーナの分解掃除	6-08			○
	フレームアイの掃除	6-09	○		
送風機	送風機ベルトの張り点検	6-10		○	○
テスト運転	異常音の有無確認	6-12	○		
	バーナ燃焼状態の確認	6-12	○		○
	異常表示の有無確認	6-12	○		

大切！

点検・整備期間は、個々の状態によって変わります。従って使用状態に合わせて点検・整備の時期を随時設定してください。

点検・整備

この章では、アルファヒータの性能を最高に保つために必要な点検・整備上の手順を詳述します。最良の効率を上げるには、アルファヒータの定期的な点検・整備が大切です。

特に、バーナ掃除は火災予防のためにも重要ですので、必ずおこなってください。以下各項で示す期間に点検・整備をおこなってください。点検・整備は必ず制御盤から電源プラグを抜いておこなってください。

随時点検・整備

本書で言う“随時”とは、定期以外の点検・整備期間を示しています。

随時点検・整備期間は個々の使用状態に合わせて随時の点検・整備を決めてください。平均的な点検時間は、毎乾燥終了後です。

警告！

点検・整備をおこなう場合、次に述べる衛生上のルールを守ることが大切です。

1. 点検・整備をおこなう前に、適当なハンドクリームを手に塗ってください。
2. 保護衣、つなぎ、ゴム手袋などを着用してください。また、バーナの分解掃除をするときには、必ずマスクを着用してください。
3. 点検・整備が終わりましたら、直ちに付着した灯油、カーボンを石鹼で洗い流してください。
4. 汚れた衣服は必ず脱いで、洗濯してください。
5. 点検・整備をおこなうときには作業所を明るくし、換気も十分におこなってください。

6-04

点検・整備

配線・配管

(1) 電源プラグ・コードの確認

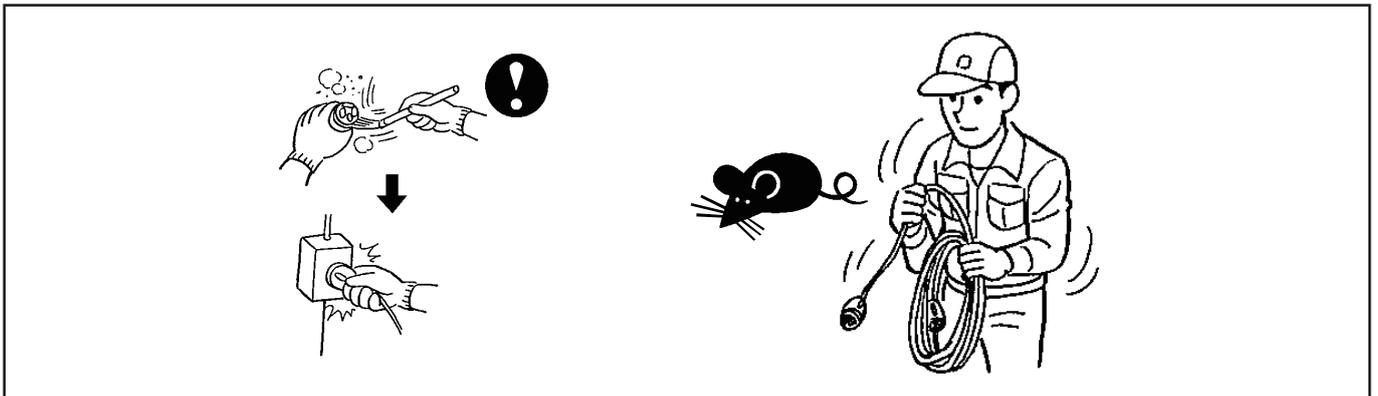
シーズン前におこなってください。

危険！

ホコリが付着して接続が不完全な場合は、感電・火災の原因になります。

電線コードに断線、または被服の剥がれがあると感電・火災の原因になります。

- ①電源プラグの刃および刃の取付面のホコリを定期的に清掃し、ガタのないように刃の根元まで差し込んでください。
- ②電源コードが断線、または被服の剥がれがないか確認してください。



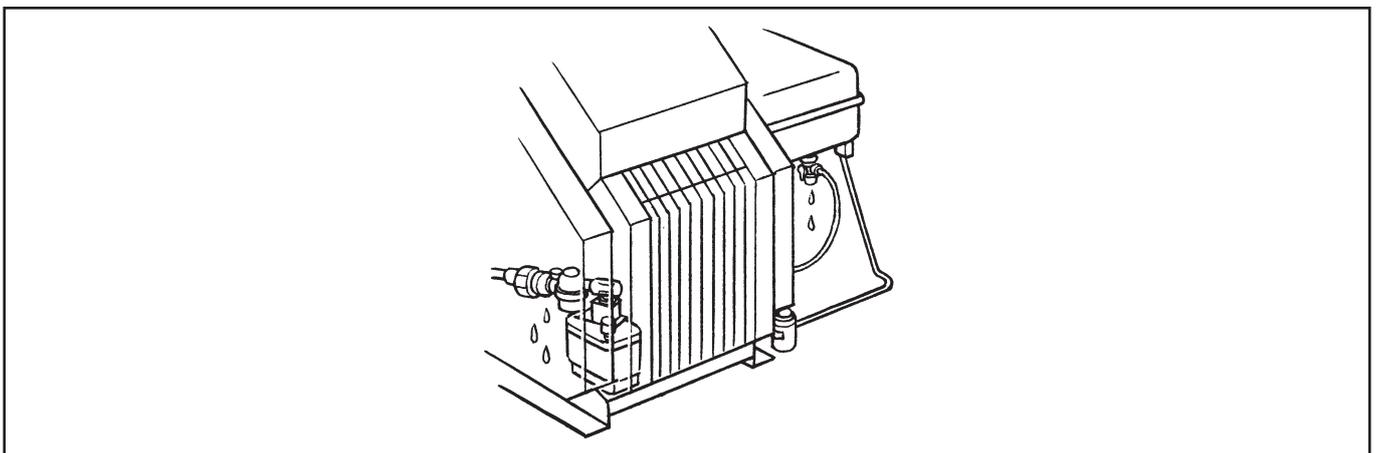
(2) 配管の油もれの確認

シーズン前、またはシーズン中におこなってください。

危険！

配管に油もれがあると、火災の原因になります。

- ①配管に油もれがないか確認してください。



エアフィルタ

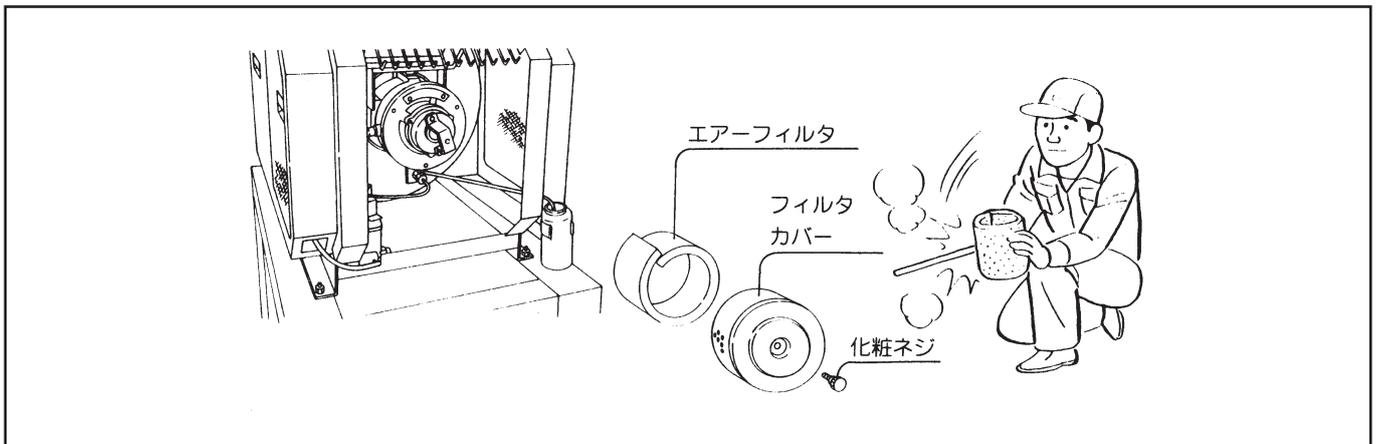
エアフィルタの掃除

シーズン前とシーズン中、4～5乾燥毎に掃除をしてください。

大切！

エアフィルタを清掃するときには、必ずエアフィルタの内側からエアブロワで吹いてください

- ①バーナカバーを開けてください。
- ②フィルタカバーの外側をきれいにしてください。
- ③化粧ネジを外して、フィルタカバーを取り外してください。
フィルタカバーと一緒にエアフィルタが外れます。
- ④フィルタカバーからエアフィルタを引き抜いてください。
- ⑤フィルタカバーの内側をきれいにしてください。
- ⑥エアフィルタをたたいて付着しているホコリを取り除いてください。

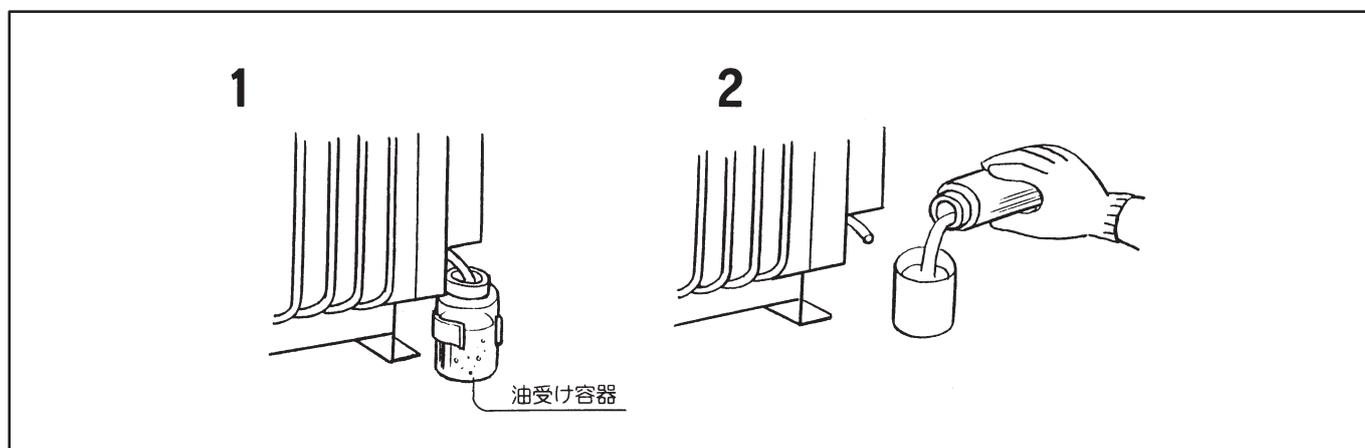


燃料系統

油受け容器の残油処理

随時、油受け容器の残油処理をおこなってください。

- ①油受け容器からドレーンパイプの先端を取り出してください。
- ②油受け容器を上を引き抜いてください。
- ③油受け容器内の残油を処理してから、再び元に戻してください。
- ④ドレーンパイプの先端を油受け容器内に戻してください。



定レベル装置内フィルタの清掃

シーズン終了後にフィルタの洗浄をおこなってください。

定レベル装置内フィルタの洗浄をするときには、適当な⊕ドライバーが必要となります。また、定レベル装置内に溜まっている灯油（約 55cc）が流出しますので、あらかじめウエス等を準備してください。

①燃料タンクの下にある送油バルブを完全に閉めてください。

補 足

送油バルブを閉めずに作業をおこないますと、燃料タンク内の灯油がすべて流出してしまいます。

②バーナカバーを開けてください。

③⊕ドライバーで定レベル装置前面にある小ネジ（2本）を外してください。

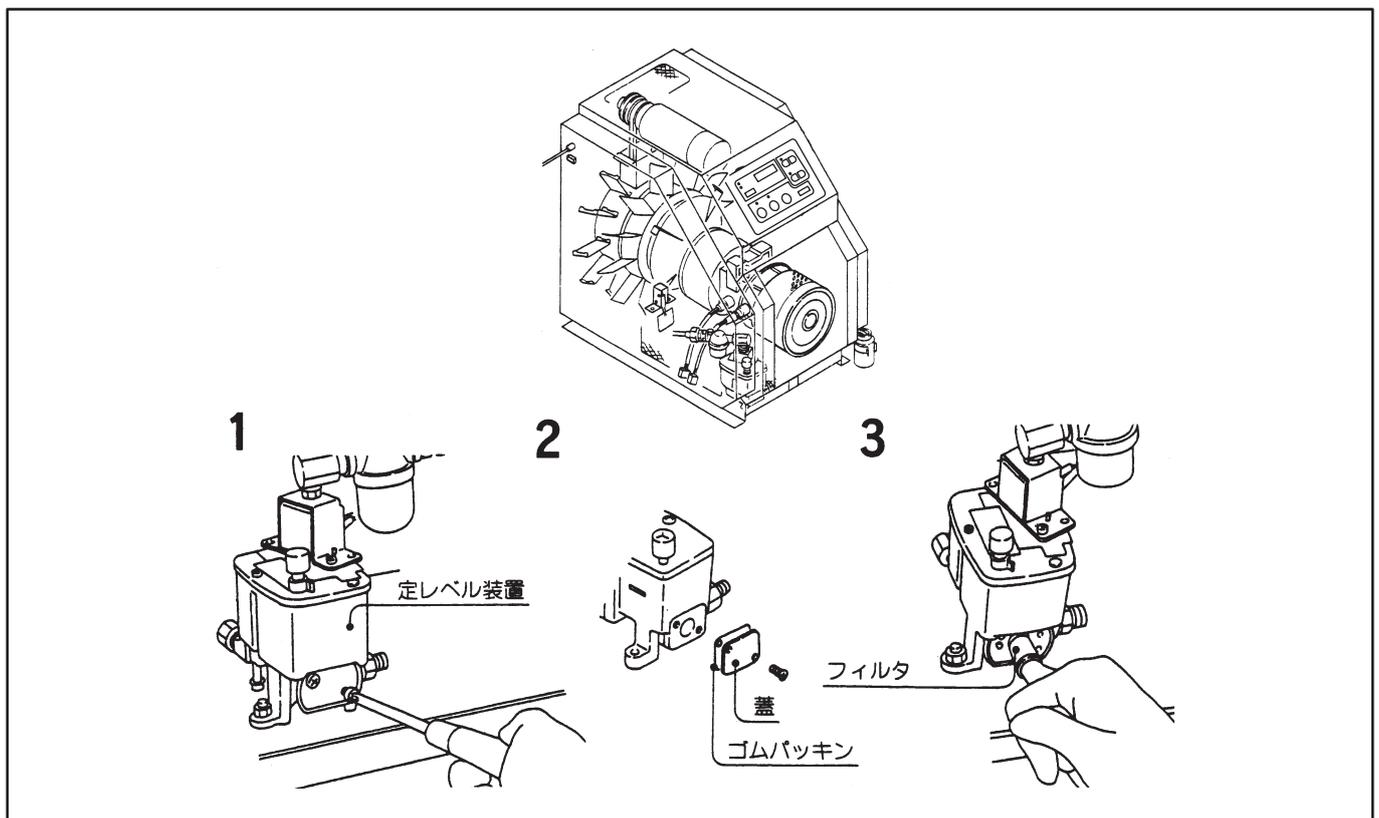
④蓋とゴムパッキンを取り外してください。

⑤フィルタの穴に小指を軽く入れて手前に引き抜いてください。

⑥フィルタを新しい灯油で洗浄してください。

⑦定レベル装置にフィルタを挿入してください。

⑧ゴムパッキンを蓋の固定穴（各2ヶ）をあわせ、小ネジ（2本）を⊕ドライバーで締め付けてください。



バーナの分解掃除

4～5 乾燥毎、およびシーズン終了後におこなってください。

警告！

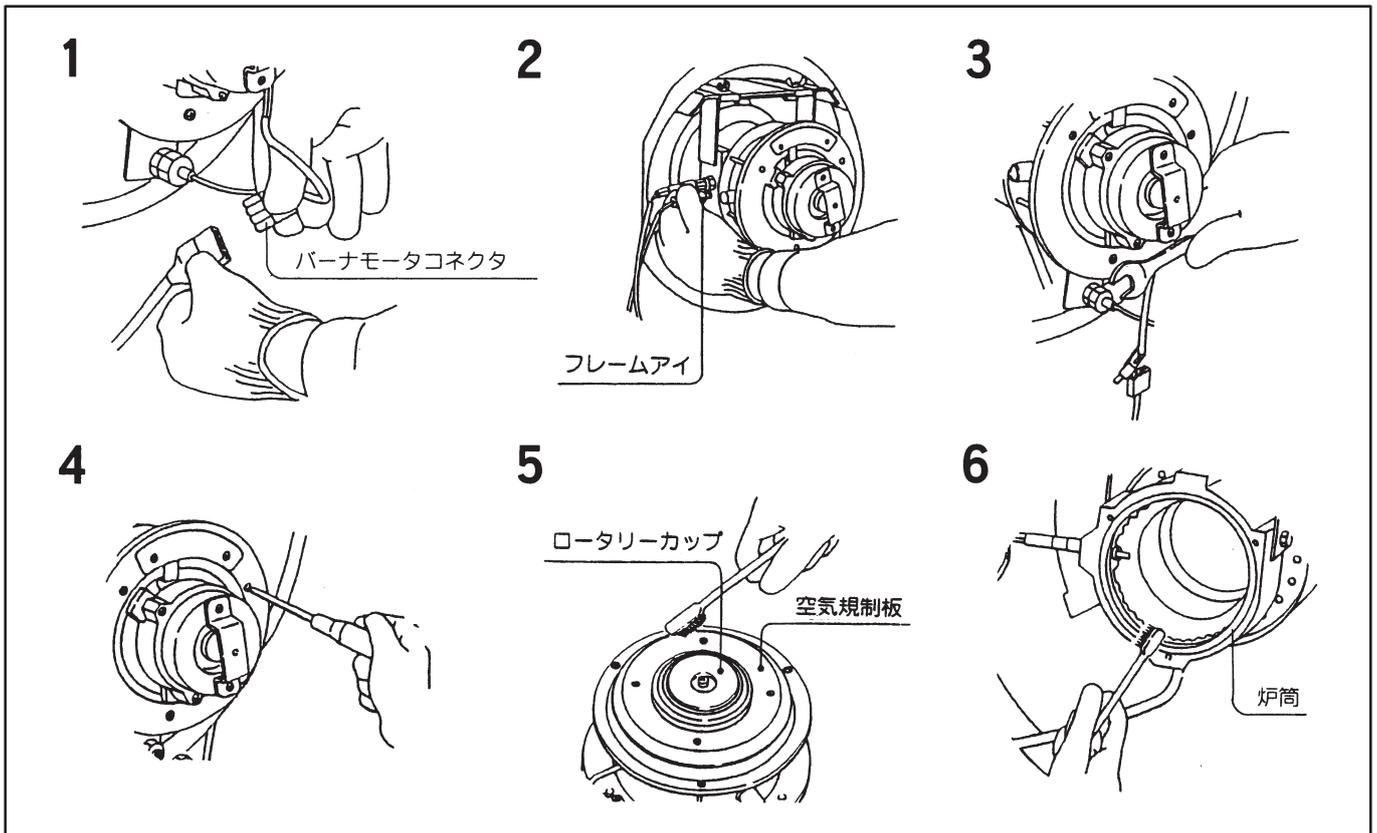
バーナが熱いあいだにバーナの分解掃除をしてはいけません。
ヤケドの原因になります。

- ①バーナカバーを開けてください。
- ②フィルタカバーとエアフィルタを取り外してください。
取り外し方は P6-05 を参照してください。
- ③バーナモータコネクタを抜いてください。
- ④バーナ左側面からフレームアイを引き抜いてください。
- ⑤バーナの下に接続してある銅パイプ送油側の袋ナットをスパナで回し、取り外してください。
- ⑥バーナ回転部を固定している3本の丸小ネジでドライバを取り外し、炉筒から回転部を分離してください。
- ⑦バーナ回転部のロータリカップ、空気規制板上にカーボンが付着していればワイヤブラシで取り除いてください。

補 足

空気規制板に付着している薄い膜状のカーボンは、異常ではありません。

- ⑧炉筒内部にカーボンが付着していれば、ワイヤブラシで取り除いてください。

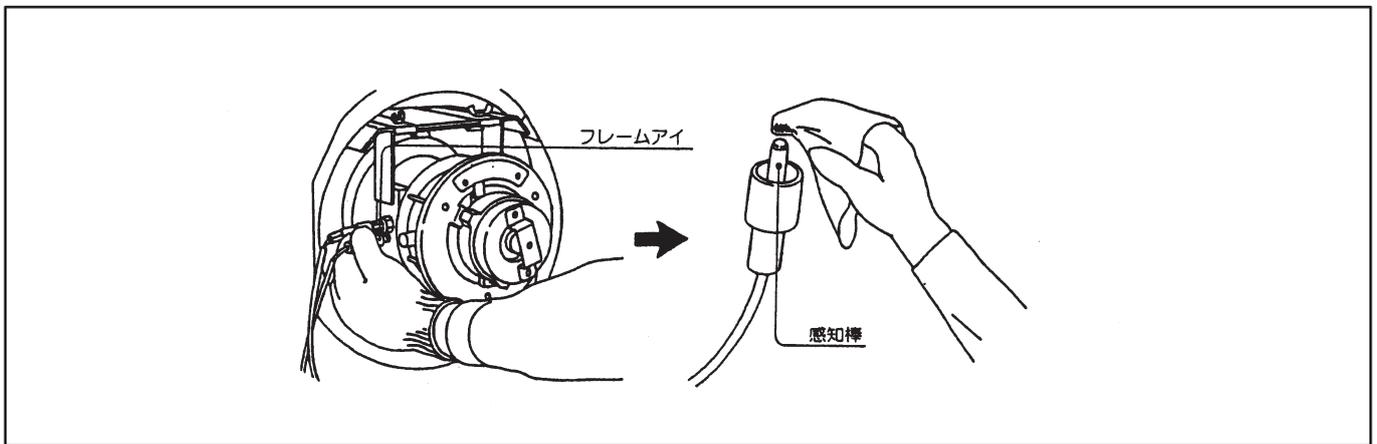


フレームアイの掃除

シーズン前におこなってください。

注意！ フレームアイの感知棒にキズをつけないように取り扱ってください。感知棒にキズがつくとバーナの炎を感知できず、連続燃焼しません。

- ①バーナカバーを開けてください。
 - ②バーナからフレームアイを引き抜いてください。
- その後、感知棒の先端をフレームアイパイプ内のホコリをやわらかい布で拭き取ってください。



送風機

(1) 送風機ベルトの張り点検

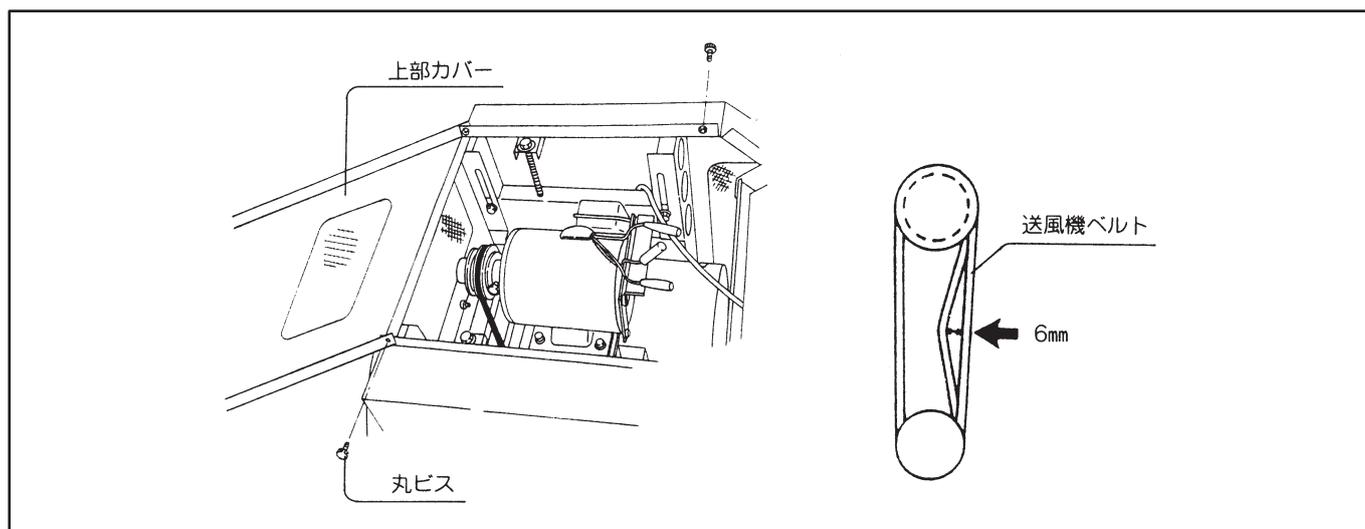
シーズン前とシーズン中に送風機の張りを点検してください。尚ベルトがゆるんでいるときには、モータベースを調整してベルトを張ってください。

注意！

送風機ベルトの張りを点検するためには、上部カバーを開けなければなりません。

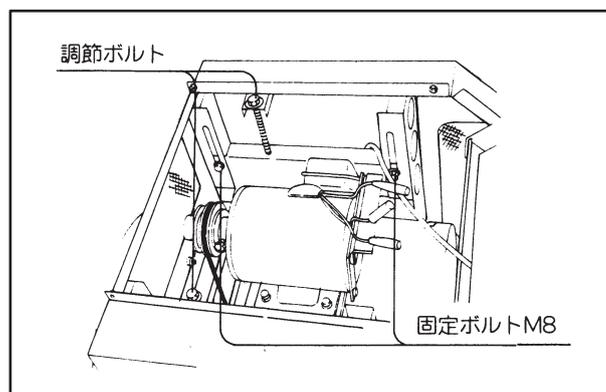
上部カバーを開けるときには、周りの安全を確かめてからおこなってください。ケガの原因になります。

- ① 上部カバーを固定している左右の丸ビスを適当な⊕ドライバで外してください。
- ② 上部カバー（制御盤側）を上を持ち上げ、開けてください。
- ③ 送風機ベルトを指で押して、ベルトのたわみ量を確認してください。
送風機の適なたわみ量は約 6mm です。



(2) 送風機ベルトの張り方

- ① モータ受け材の左右の固定ボルト M8（各 2 本）を適当に緩めてください。
- ② モータを固定している左右の調節ボルトをスパナで回してください。
送風機ベルトを指で押して、ベルトのたわみ量を確認してください。
送風機の適なたわみ量は約 6mm です。



ノーヒューズブレーカのリセット

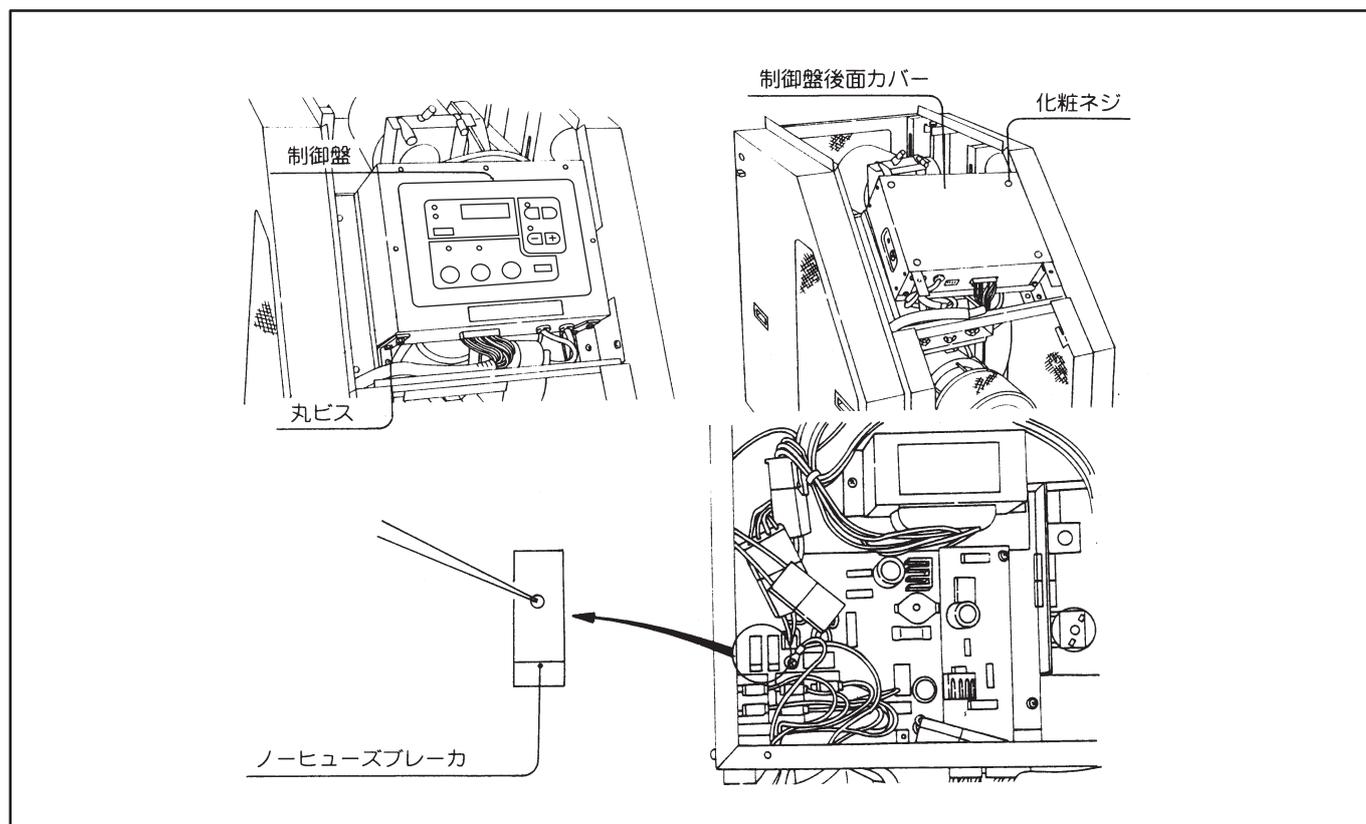
警告！

ノーヒューズブレーカをリセットするときには、必ず電源プラグを抜いてください。感電の原因になります。

リセットのしかた

- ①上部カバーを固定している左右の丸ビス（各2本）を適当な⊕ドライバで外してください。
- ②上部カバー（制御盤側）を上を持ち上げ、開けてください。
- ③制御盤下部を止めている丸ビス（各2本）を適当な⊕ドライバで外してください。
- ④制御盤を裏返しにしてください。その後、後面カバーを止めている化粧ネジ（各4本）を取り外し、後面カバーを外してください。

ノーヒューズブレーカの上にある白いボタンをつまようじ等の先端が細い物で軽く押ししてください。



6-12

点検・整備

テスト運転のしかた

シーズンに入る前に必ずテスト運転をおこない、アルファヒータの動作チェックをおこなってください。事前にアルファヒータの故障箇所の有無をチェックできますので、余裕をもってシーズンをむかえることができます。

	運転順序	確認事項	チェック欄
1	①電源プラグを接続する ②電源スイッチを 'ON' にする。		
2	①温度設定ボタンで設定温度を約 50℃にあわせる	①表示部が 50℃を表示しますか？	
3	①時間設定ボタンで設定時間を '10' にあわせる	①表示部が 10 を表示しますか？	
4	① <input type="button" value="起動"/> ボタンを押す。	①送風機が回転します。 ②異常音の発生がありますか？	
5	① <input type="button" value="点火"/> ボタンを押す。	①バーナが 30 秒後に着火します。 約 30 分間、連続燃焼させてください。 ②バーナの燃焼状態は良好ですか？ ③熱風温度が設定した温度 (約 50℃) まで上昇しますか？	
6	① <input type="button" value="停止"/> ボタンを押す。	①バーナが消火します。 ②時間設定が自動的に解除されます。 ③約 5 分後に、送風機・バーナファンが停止します。	
7	①電源スイッチを 'OFF' にする。 ②電源プラグを抜く。		

補 足

テスト運転時に異常が発生した場合には、お買い上げの販売店あるいは最寄りの弊社営業所にお問い合わせください。

第7章

掃除と保管

掃除のしかた	7-02
保管のしかた	7-02
燃料タンクの保管のしかた	7-03
燃料（灯油）の保管のしかた	7-03

7-02

掃除と保管

この章では、シーズン終了後の掃除のしかたおよび、保管について詳述します。

掃除のしかた

警告！

掃除をおこなう場合、次に述べるルールを守ることが大切です。

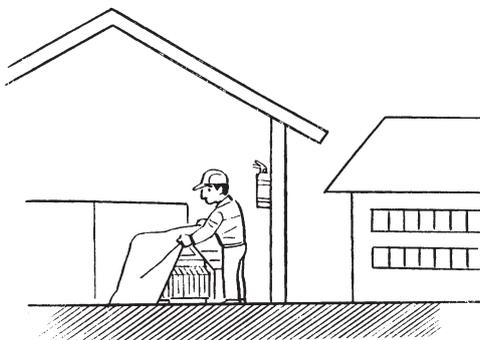
1. 保護衣、つなぎ、ゴム手袋およびマスクなどを着用してください。
2. 掃除が終わりましたら、そのつど直ちに取り外した蓋・カバーは元の位置に戻してください。
3. 汚れた衣服は、必ず脱いで洗濯してください。
4. 掃除をおこなうときには、作業所を明るくし、換気を十分におこなってください。
5. 掃除は、必ず電源プラグを抜いておこなってください。
6. エアードライヤーなどを使って、本機に付着しているホコリを取り除いてください。

保管のしかた

製品を長期間保管する場合には、製品を保護するために適切な予防措置を取らなければなりません。方法については、次の通りです。

(1) 本機の保管のしかた

本機に付着しているホコリを取り除いた後に通気の良い、涼しい所に保管してください。その後、厚手ビニールシート等を掛けて、ネズミの侵入を防いでください。特に海辺での使用の場合は浜風のあたらない箇所に保管してください

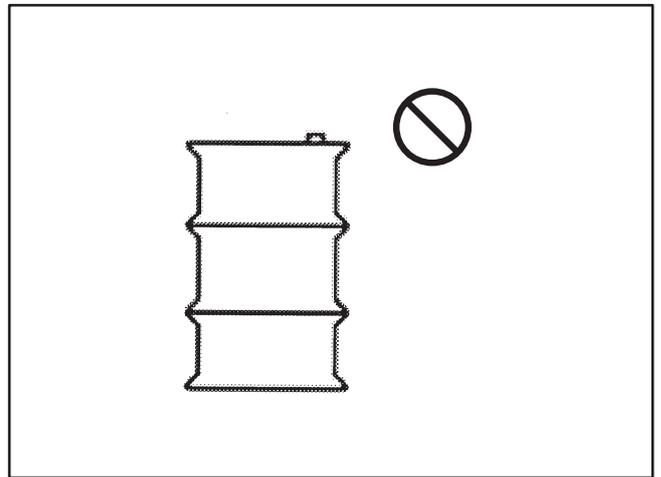
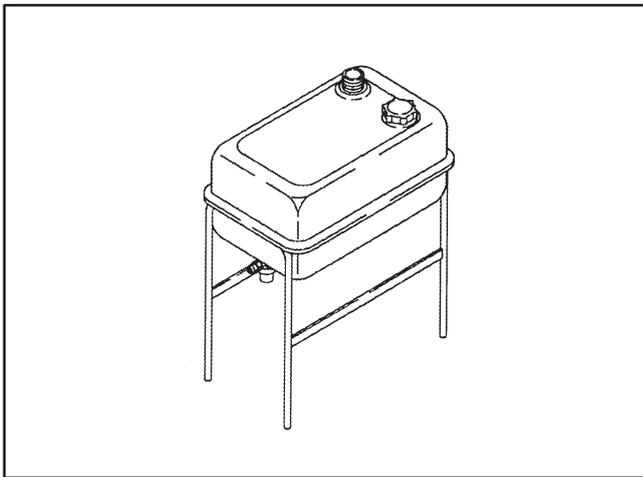


(2) 燃料（灯油）の保管のしかた

大切！

最も注意すべきことは、燃料をきれいに保管することです。
次の注意事項を守って、燃料の保管に万全を期してください。

1. 灯油専用の保管容器で保管ください。（ドラム缶等での保管はおやめください。）
2. 保管する容器の内側は、毛ばだった布切れで決して拭いてはいけません。
3. 燃料タンクはフィルタを含めて1年に1回掃除してください。



第8章

故障診断と処置

8-02

故障診断と処置

下記項目に従って点検されても直らないときには、お買い上げの販売店あるいは最寄りの弊社営業所にお問い合わせください。

	こんなときには	ここをお確かめください	参照 ページ
電 源	電源スイッチを 'ON' にしても表示ランプが点灯しない。	電源プラグが外れている。 ▶電源プラグを差し込んでください。	5-03
		元電源のアンペアブレーカが 'OFF' または '切' になっている。 ▶アンペアブレーカを 'ON' または '入' にしてください。	5-03
		ノーヒューズブレーカが作動している。 ▶ノーヒューズブレーカをリセットしてください。	6-11
起 動	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">起動</div> ボタンを押してもすぐに本体が停止する。	風圧センサの接点が 'ON' 状態にならない。 ▶風圧センサの接点部のホコリをエアークロウで取り除いてください。	3-05
		送風機ベルトがゆるんでいる。 ▶送風機ベルトを張ってください。	6-10
		送風機排風口または吸引口付近に障害物がある。 ▶抵抗物を取り除いてください。	4-03
点 火	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">点火</div> ボタンを押すと、 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">点火</div> ランプが点灯するがすぐに消灯してしまい、バーナが着火しない。	バーナ部への光の洩れ込み ▶エアフィルタが取付けられていない。 エアフィルタを取付けてください。	6-05

	こんなときには	ここをお確かめください	参照 ページ
点 火	<div style="border: 1px solid black; display: inline-block; padding: 2px;">点火</div> ボタンを押してもバーナが着火しない。	燃料が切れている。 ▶燃料タンクに灯油を注油してください。	5-05
		送油バルブのコックが閉まっている。 ▶送油バルブのコックを開いてください。	5-06
		送油バルブ内にゴミが詰まっている。 ▶エレメントを洗浄してください。	
		定レベル装置上面のリセットボタンを押していない。 ▶定レベル装置上面のリセットボタンを押してください。	5-06
		燃料に軽油を使用している。 ▶燃料タンク内を洗浄して灯油を注油してください。	
		燃料ホースにエアを噛んでいる。 ▶燃料ホースのエア抜きをしてください。	5-06
		定レベル装置内のフィルタが目詰まり。 ▶フィルタを灯油で洗浄してください。	6-07
		バーナにカーボンが付着している。 ▶バーナとエアフィルタを掃除してください。	6-05 6-08 6-09
		点火ヒータが切れている。 ▶お買い上げの販売店にご連絡ください。	
		点火ヒータが赤熱しない。 ▶電圧降下 お買い上げの販売店にご連絡ください。	

8-04

故障診断と処置

	こんなときには	ここをお確かめください	参照 ページ
燃 焼 中	燃焼中、いつの間にかバーナが消火している。	燃料が切れている。 燃料タンクに灯油を注油してください。	
		送油バルブ内にゴミが詰まっている。 エレメントを洗浄してください	
		燃料ホースにエアを噛んでいる。 燃料ホースのエア抜きをしてください。	5-06
		定レベル装置内のフィルタの目詰まり。 フィルタを灯油で洗浄してください。	6-06 6-07
		フレームアイの感知棒が汚れている。 フレームアイの感知棒を拭いてください。	6-09
		バーナにカーボンが付着している。 バーナとエアフィルタを掃除してください。	6-05 6-07 6-08
		熱風温センサあるいはサーモスタットが異常温度を検出している。 著しい通気抵抗をおこしていますので排気口を開く、抵抗物を取り除くまたは乾燥物の層厚を薄くしてください。	4-03 1-15 1-16
	乾燥時間が長くかかりすぎる	送風機の回転数が落ちている。 送風機ベルトを張ってください。	6-09 6-10
		エアフィルタがホコリで目詰まりしている。 エアフィルタを掃除してください。	6-05

	こんなときには	ここをお確かめください	参照 ページ
燃 焼 中	乾燥時間が長くかかりすぎる	<p>熱風温センサの取付位置が悪い。 ▶お買い上げの販売店にご連絡ください。</p> <p>大切！ 平面型乾燥機として使用している場合は、熱風温センサの取付位置は決められています。従って、取付位置を変更してはいけません。乾燥物の品質を損なうことがあります。</p>	
	熱風温度が設定温度まで、下がらない。	<p>熱風温度は、外気温度+10℃～15℃までしか下がりません。 ▶着火する前に設定温度を、熱風温センサ検出温度+10℃～15℃以上にあわせてください。 ▶+10℃～15℃以内の温度で使用する場合には、必ず弊社営業所までお問い合わせください。</p>	
		<p>通気抵抗が高すぎて送風量が低下して、乾燥物の積高さを低くする。</p>	4-03 1-15 1-16
	熱風温度が設定温度まで、上がらない。	本機能力が乾燥室の大きさに対し不足している。	

8-06

故障診断と処置

エラー No	異常内容	原因
E2	異常消火	燃料切れ、フレイムアイの汚れ、断線
E3-1	熱風温度センサ異常	熱風温センサの断線またはショート
E3-2	外気温度センサ異常	外気温センサが 80℃以上を検出、または断線
E3-3	熱風温度異常	熱風温度 80℃以上を検出、またはサーモスタット作動
E4	風圧センサ異常	風圧センサが作動しない
E5	バーナモータ異常	バーナモータの回転が低すぎる
E10	地震	感震センサが異常を検知
E11	過電圧異常	過電圧を検知
Eb-2	ポンプ過負荷	ポンプに過負荷を検知
SErr	システムエラー	CPU の異常
FErr	ファームエラー	プログラムの異常

第9章

オプション品

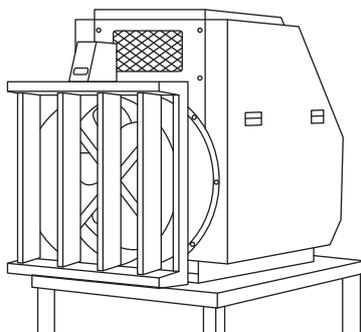
オプション品	9-02
--------------	------

オプション品

この乾燥機のオプション品（別売）には、次のようなものがあります。尚、詳細については、お買い上げの販売店あるいは最寄りの弊社営業所にお問い合わせください。

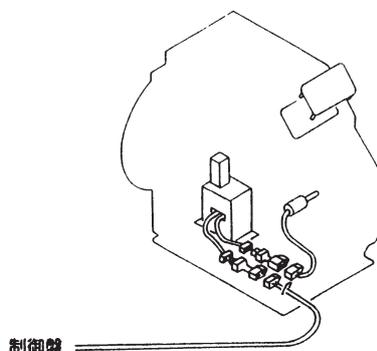
①自動風向板（型式名：DW-480-115C, DW-480-215C）

- 温風を室内に均一に拡散する場合に使用します。
- DW-480-215 型は、200V 仕様、DW-480-115 型は 100V 仕様となります。



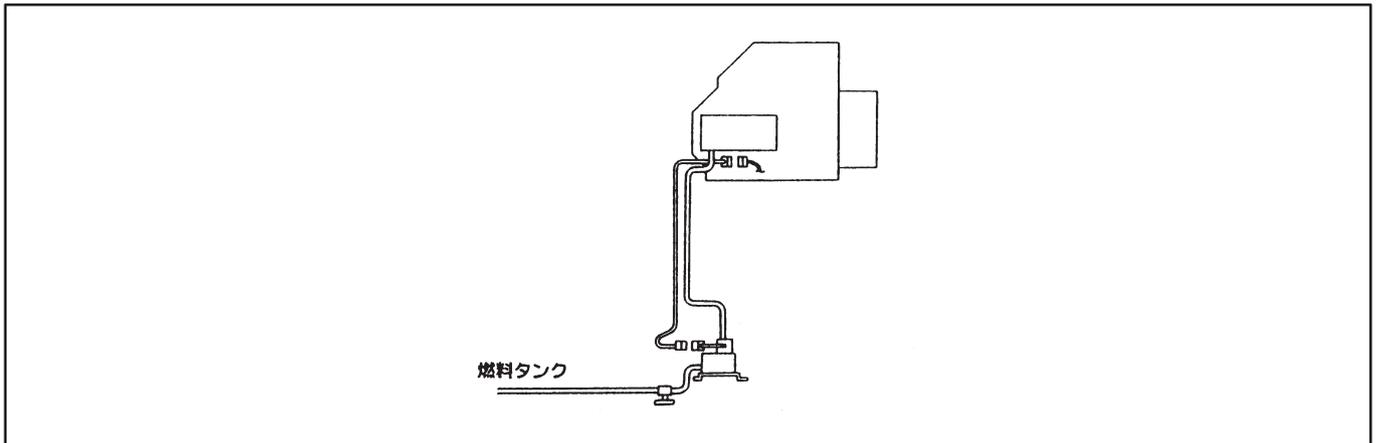
②遠隔操作延長コードセット（型式名：KFAO-50EC）

- 本体から制御盤を取り外し、室外等で遠隔操作をする場合に使用します。
- 遠隔操作延長コードを使用すると、本体から制御盤を最大 5m 離すことができます。



③ポンプ別置部品セット（型式名：KFAO-08P）

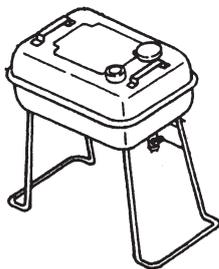
- 燃料タンク据付け面より、本機を上にも据付ける場合に使用します。



④燃料タンク（型式名：OTK-40KX, EBT-92H）

- 灯油用燃料タンクです。
- タンク容量は次の通りです。
 - OTK-40KX 型…… 40 ℓ
 - EBT-92H 型 …… 83 ℓ

OTK-40KX 型



EBT-92H 型



第 10 章

緊急時の連絡先

10-02

緊急時の連絡先

乾燥機をお使いいただいている間に、原因が不明で適切な処置がおこなえないと判断した場合、あるいは、点検・整備の結果、機械の動作に異常があった場合には、お買い上げの販売店あるいは弊社営業所までご連絡ください。

販売元

弊社営業所・事務所一覧

本社・工場

〒 348-8503 埼玉県羽生市小松台 1-516-10

tel (048)-561-2111 fax (048)-563-1577

北海道営業所

tel (01267)-4-2130 fax (01267)-4-2131

東北営業所

tel (022)-235-9011 fax (022)-235-9013

関東営業所

tel (048)-561-2112 fax (048)-563-3879

新潟営業所

tel (0258)-22-2131 fax (0258)-22-2297

金沢駐在センター

tel (076)-249-7210 fax —

大阪営業所

tel (072)-652-2828 fax (072)-652-2818

中国四国サービスセンター

tel (087)-874-6470 fax (087)-874-6490

九州営業所

tel (0942)-45-0600 fax (0942)-45-0603

メモ

この取扱説明書において、万一、落丁、乱丁の場合は、おとりかえいたします。
お買い上げの販売店あるいは、弊社営業所までお申しつけください。



〒 348-8503 埼玉県羽生市小松台 1-516-10

☎ 048-561-2111

H261202060